

「環境」に関する市民・事業所アンケート

結果報告書（案）

概 要 版

－ 目 次 －

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
II 市民調査結果概要	2
1 回答者について	2
2 環境の課題について	2
3 S D G s の認知度について	3
4 地域の環境について	4
5 回答者の環境への取り組みについて	6
6 環境への取り組みを進めるために必要な情報について	22
7 武蔵野市の環境への取り組みについて	23
8 武蔵野市の環境政策への要望について	24
9 回答者の属性別の特徴	26
III 事業所調査結果	32
1 回答した事業所について	32
2 事業活動における環境の位置づけについて	32
3 事業所での環境配慮行動について	33
4 環境配慮行動の取り組みを進めるうえでの課題・問題点について	39
5 省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入について	40
6 省エネ・再生可能エネルギーの設備導入するうえでの課題・問題点について	41
7 地域社会との連携について	42
8 武蔵野市の環境政策への要望について	44

I 調査概要

1 調査目的

本アンケートは、市民や事業所の「環境」に関する考えや取り組みを把握し、「第五期武蔵野市環境基本計画」策定の際の基礎資料を得ることを目的に実施した。

2 調査方法

本アンケートの調査方法を以下に示す。

表 I-1 アンケートの調査方法

	市 民	事業所
調査対象	18 歳以上の市内居住者	市内事業所
抽出法	「住民基本台帳」をもとに無作為抽出	「経済センサス-活動調査 (H28)」で得られた産業大分類別の事業所割合に従い、i タウンページ (https://itp.ne.jp/) をもとに無作為抽出
調査方法	郵送による配付、 返信用封筒による回収	郵送による配付、 返信用封筒による回収
調査期間	令和元年 9 月 20 日～10 月 18 日	令和元年 10 月 4 日～10 月 31 日
配布数	2,000 件（このうち 16 件が不達）	200 件（このうち 9 件が不達）
回収数	649 件	39 件
回収率	32.5%	19.5%

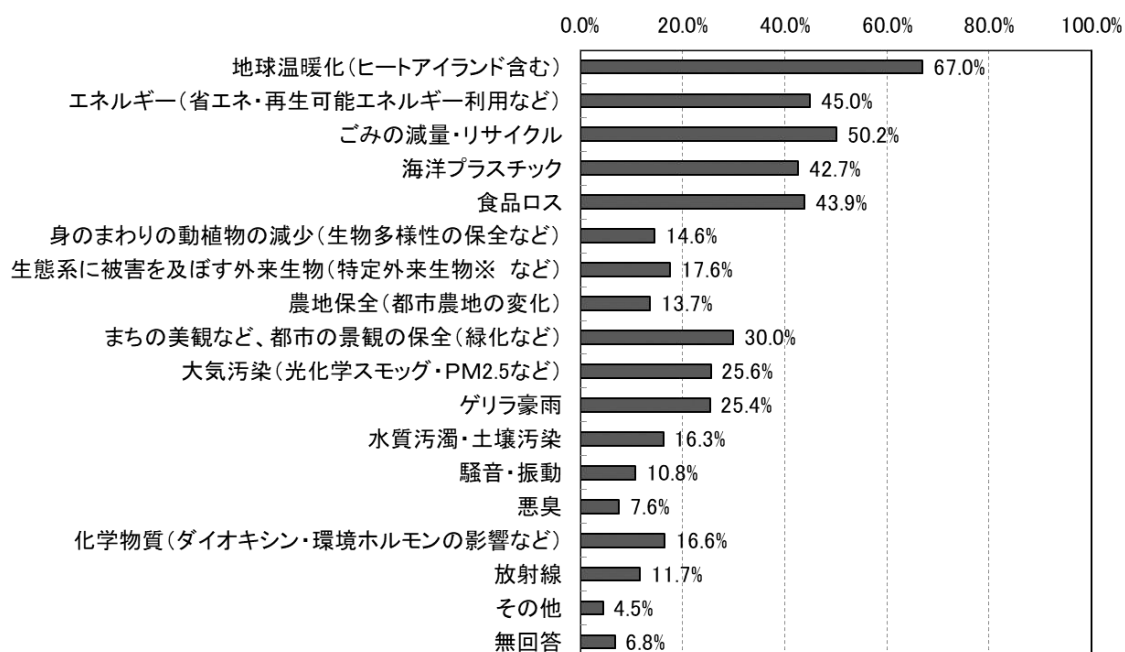
II 市民調査結果概要

1 回答者について

- ・ 年代⇒70代、60代、40代の順に多かった。
- ・ 職業⇒会社員・公務員・団体職員、無職、家事専門の順に多かった。
- ・ 市内の居住年数⇒30年以上、10～19年、20～29年の順に多かった。
- ・ 世帯構成⇒二世帯同居（親と子）、夫婦のみ、ひとり暮らしの順に多かった。
- ・ 住まいの形態⇒戸建（持家）、集合住宅（賃貸）、集合住宅（持家）の順に多かった。

2 環境の課題について

問 1 以下の環境の課題について、優先的に対策していくべきとあなたが思うものを5つまで選び、番号に○をつけてください。



(n=649)

※外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から国により指定された生きもののこと。例 アライグマ、オオキンケイギク など。

図 II-1 環境の課題

- ・ 優先的に対策していくべき課題の回答が多かったのは、「地球温暖化（ヒートアイランド含む）」、「ごみの減量・リサイクル」、「エネルギー（省エネ・再生可能エネルギー利用など）」の順であった。

- 年代別⇒下記の回答が多かった。
 - 10代：「悪臭」
 - 20代：「身のまわりの動植物の減少（生物多様性の保全など）」、「悪臭」
 - 50代：「化学物質（ダイオキシン・環境ホルモンの影響など）」
 - 60代：「地球温暖化（ヒートアイランド含む）」、「ゲリラ豪雨」
 - 70代：「地球温暖化（ヒートアイランド含む）」、「海洋プラスチック」
- 職業別⇒下記の回答が多かった。
 - 会社員・公務員・団体職員：「ごみの減量・リサイクル」、「まちの美観など、都市の景観の保全（緑化など）」、「悪臭」
 - 学生：「大気汚染（光化学スモッグ・PM2.5 など）」、「悪臭」
 - 家事専業：「水質汚濁・土壌汚染」、「放射線」
- 2014 年度アンケートとの比較⇒「地球温暖化（ヒートアイランド含む）」や「農地保全（都市農地の変化）」、「まちの美観など、都市の景観の保全（緑化など）」を選択した人の割合が増加し、「大気汚染（光化学スモッグ・PM2.5 など）」や「放射線」を選択した人の割合が減少していた。

3 SDGs の認知度について

問2 現在、2030 年までの国際的な目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」に基づき、民間問わず、世界中の様々な主体が取り組みを進めていますが、あなたは、SDGs についてご存知ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

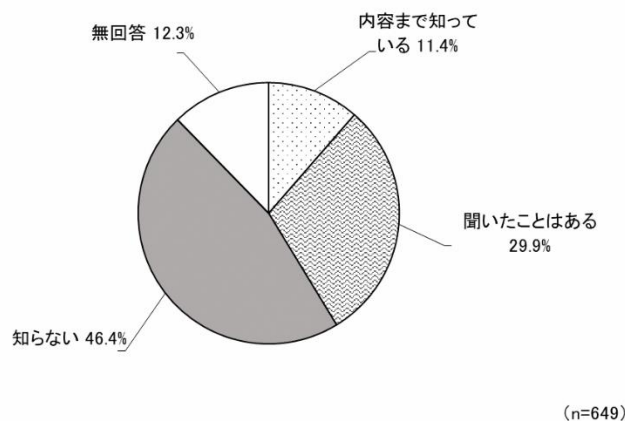
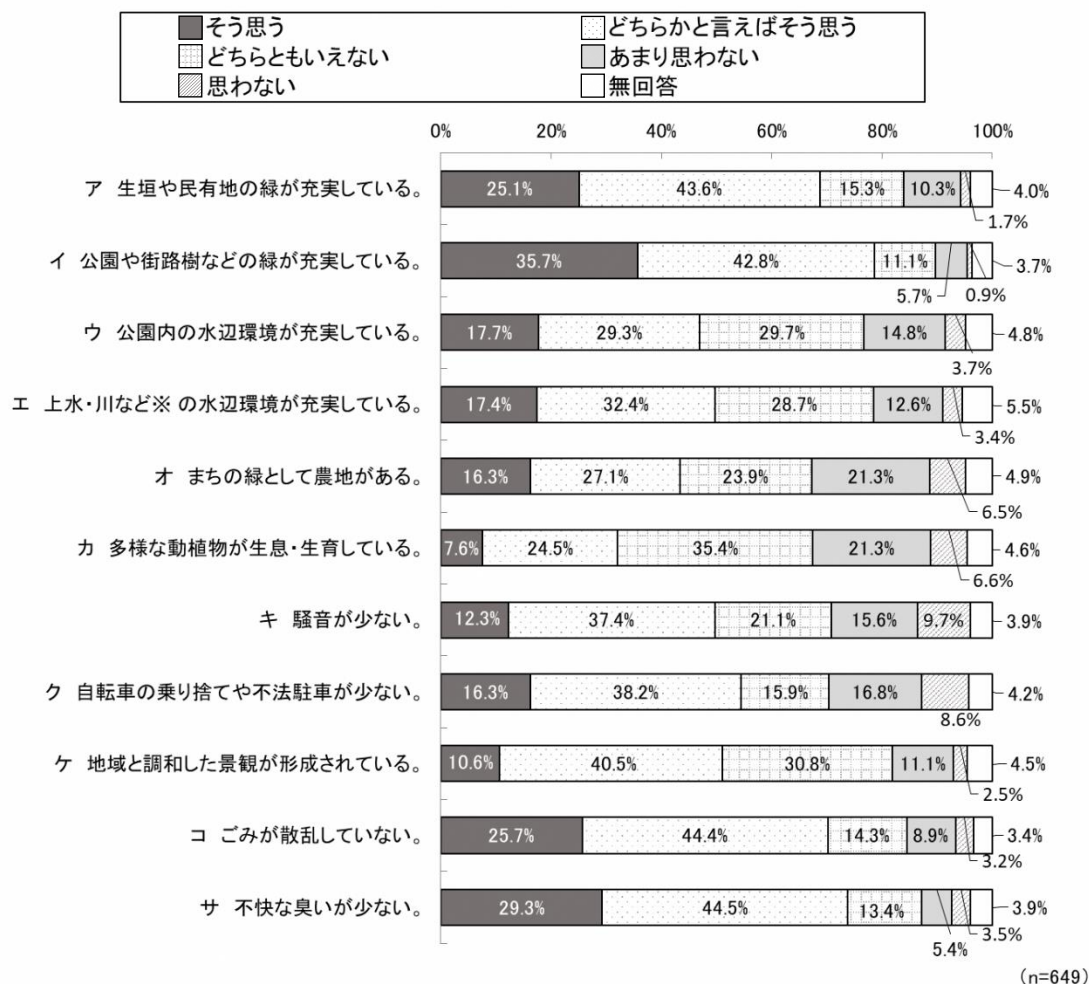


図 II-2 SDGs の認知度

- SDGs の認知度は、「内容まで知っている」、「聞いたことはある」を含めて、41.3%にとどまっており、「知らない」の46.4%を下回っていた。
- 年代別⇒20代の「知らない」の回答が多かった。
- 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「内容まで知っている」の回答が多かった。

4 地域の環境について

問 3 現在お住まいの地域の環境について伺います。以下の各項目に対して、日ごろの暮らしのなかで感じていることに最も近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○を付けてください。



※玉川上水、千川上水、仙川 など。

図 II-3 地域の環境

- 地域の環境について、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせて回答が多かったのは、「イ 公園や街路樹などの緑が充実している」、「サ 不快な臭いが少ない」、「コ ごみが散乱していない」の順であった。
- アからサの各項目について、「そう思う」の比率が高い地域（上位 3）、低い地域（下位 3）を以下に示す。

表 II-1 地域の環境（「そう思う」の比率が高い地域（上位3）、低い地域（下位3））

項目	「そう思う」の比率が高い			「そう思う」の比率が低い		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
ア 生垣や民有地の緑が充実している。	桜堤	緑町	境	吉祥寺本町	中町	御殿山
イ 公園や街路樹などの緑が充実している。	緑町	御殿山	桜堤	吉祥寺本町	吉祥寺東町	吉祥寺南町
ウ 公園内の水辺環境が充実している。	御殿山	吉祥寺南町	桜堤	西久保	境南町	中町
エ 上水・川などの水辺環境が充実している。	御殿山	桜堤	緑町	境南町	吉祥寺南町	中町
オ まちの緑として農地がある。	境	吉祥寺北町	関前	吉祥寺南町	中町	吉祥寺東町
カ 多様な動植物が生息・生育している。	吉祥寺北町	桜堤	御殿山	吉祥寺東町	吉祥寺南町	境南町
キ 騒音が少ない。	吉祥寺北町	八幡町	御殿山	吉祥寺東町	西久保	緑町
ク 自転車の乗り捨てや不法駐車が少ない。	境南町	吉祥寺南町	吉祥寺北町 境	吉祥寺本町	桜堤	中町
ケ 地域と調和した景観が形成されている。	境南町	吉祥寺北町	緑町	吉祥寺本町	吉祥寺東町	西久保
コ ごみが散乱していない。	吉祥寺北町	境南町	緑町	吉祥寺本町	八幡町	吉祥寺東町
サ 不快な臭いが少ない。	境南町	吉祥寺北町	緑町	吉祥寺本町	八幡町	吉祥寺東町

5 回答者の環境への取り組みについて

問4 以下は、環境に配慮した取り組みの例です。各項目の「現在の取り組み状況」にあてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○を付けてください。また、「今後の取り組みの意向」についても同様に、あてはまるもの1つに○を付けてください。各項目で該当しない場合（機器を持っていないなど）、何も記入しないでください。

（1）日常での省エネ

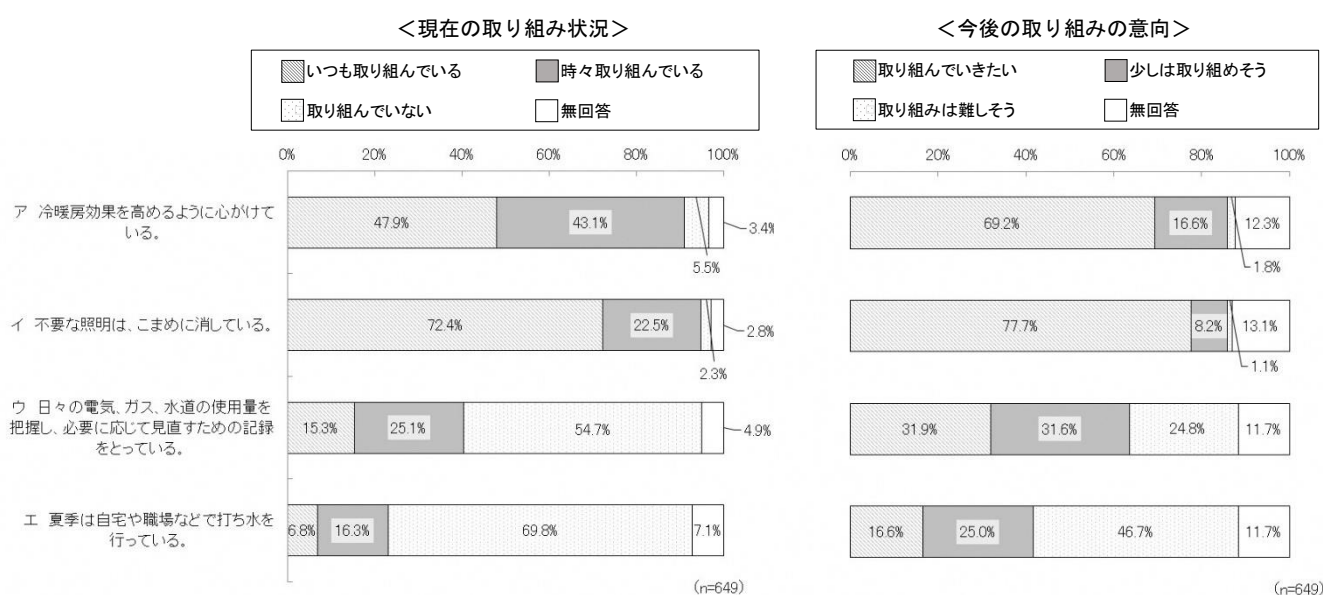


図 11-4 日常での省エネ

- ・ 「いつも取り組んでいる」という回答が多かったのは、「イ 不要な照明は、こまめに消している」、「ア 冷暖房効果を高めるように心がけている」の順であった。

ア 冷房効果を高めるように心がけている

- ・ 年代別⇒30代の「取り組んでいない」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒家事専門の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

イ 不要な照明は、こまめに消している

- ・ 年代別⇒10代の「時々取り組んでいる」、40代の「時々取り組んでいる」、「取り組んでいない」、50代の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

ウ 日々の電気、ガス、水道の使用量を把握し、必要に応じて見直すための記録をとっている

- ・ 年代別⇒10～20代、40代の「取り組んでいない」、60代の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

エ 夏季は自宅や職場などで打ち水を行っている

- ・ 年代別⇒20～40代の「取り組んでいない」、70代の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」、家事専門の「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」の回答が多かった。

○ 経年比較

- ・ 2009年度、2014年度アンケートとの比較⇒「いつも取り組んでいる」という回答は、「イ 不要な照明は、こまめに消している」、「エ 夏季は自宅や職場などで打ち水を行っている」ともに減少傾向にあった。
- ・ 環境省が全国を対象に行っている「環境にやさしいライフスタイル実態調査」でも、「A 日常生活において節電等の省エネに努める」という質問において、「すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う」という回答は減少傾向にあった。

(2) 環境に配慮した商品の選択

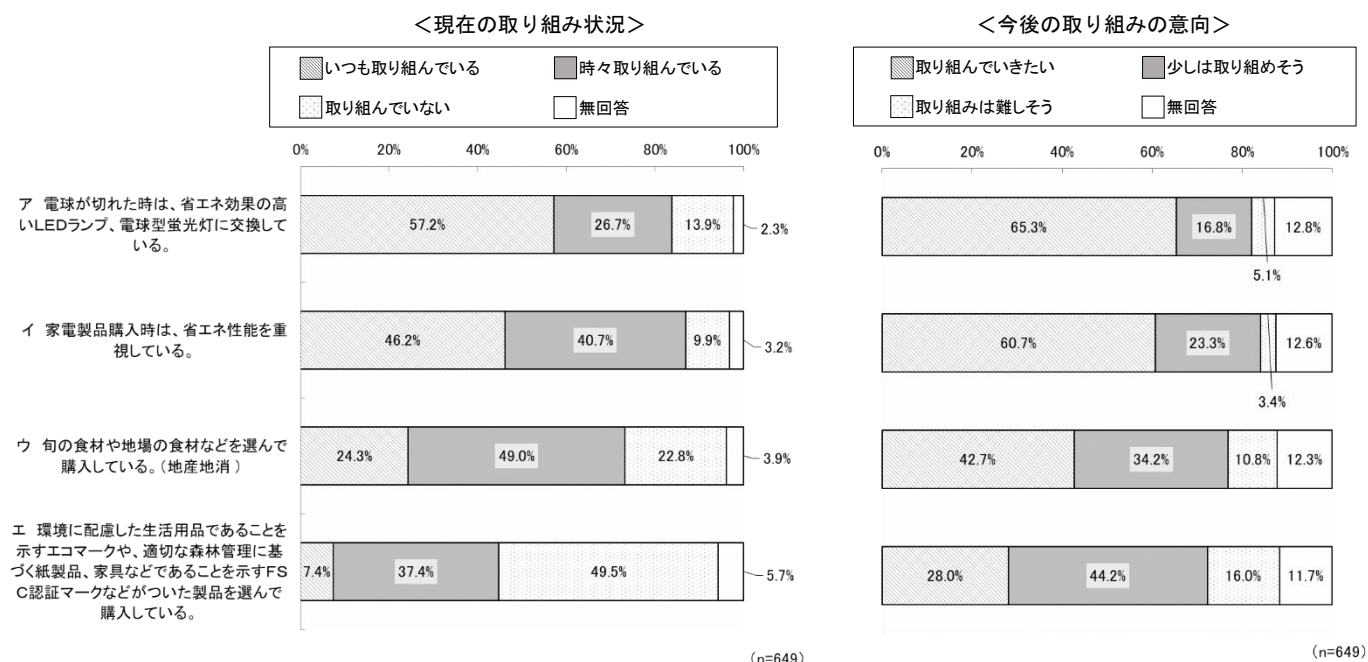


図 II-5 環境に配慮した商品の選択

- ・ 「いつも取り組んでいる」という回答が多かったのは、「ア 電球が切れた時は、省エネ効果の高いLED ランプ、電球型蛍光灯に交換している」、「イ 家電製品購入時は、省エネ性能を重視している」の順であった。

ア 電球が切れた時は、省エネ効果の高いLED ランプ、電球型蛍光灯に交換している

- ・ 年代別⇒40 代の「取り組んでいない」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」、家事専門の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

イ 家電製品購入時は、省エネ性能を重視している

- ・ 年代別⇒10 代、50 代の「取り組んでいない」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」、家事専門の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

ウ 旬の食材や地場の食材などを選んで購入している。（地産地消）

- ・ 年代別⇒20 代の「取り組んでいない」、40 代の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「時々取り組んでいる」、「取り組んでいない」、無職の「いつも取り組んでいる」、家事専門の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。

エ 環境に配慮した生活用品であることを示すエコマークや、適切な森林管理に基づく紙製品、家具などであることを示す FSC 認証マークなどがついた製品を選んで購入している

- ・ 年代別⇒20～30 代の「取り組んでいない」、60 代の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」の回答が多かった。

○ 経年比較

- ・ 2009 年度、2014 年度アンケートとの比較⇒「いつも取り組んでいる」という回答は、「イ 家電製品購入時は、省エネ性能を重視している」、「ウ 旬の食材や地場の食材などを選んで購入している（地産地消）」ともに減少傾向にあった。
- ・ 環境省が全国を対象に行っている「環境にやさしいライフスタイル実態調査」でも、「A 物・サービスを購入するときは環境への影響を考えてから選択する」という質問において、「すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う」という回答は 2014 年度にいったんやや増加しているものの、長期的に見れば減少傾向にあった。

(3) 移動手段について

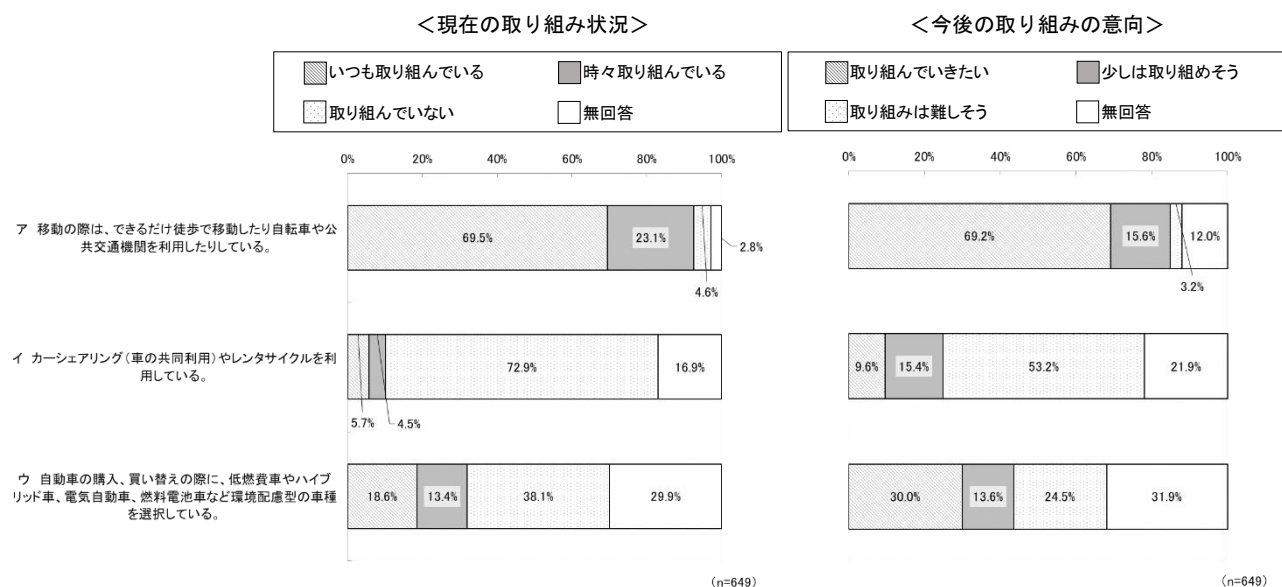


図 II-6 移動手段について

- ・ 「いつも取り組んでいる」という回答が最も多かったのは、「ア 移動の際は、できるだけ徒歩で移動したり自転車や公共交通機関を利用したりしている」であった。

ア 移動の際は、できるだけ徒歩で移動したり自転車や公共交通機関を利用したりしている

- ・ 年代別⇒50 代の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒無職の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

イ カーシェアリング（車の共同利用）やレンタサイクルを利用している

- ・ 年代別⇒20～30 代の「いつも取り組んでいる」、40～50 代の「取り組んでいない」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

ウ 自動車の購入、買い替えの際に、低燃費車やハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車など環境配慮型の車種を選択している

- ・ 年代別⇒20～40 代の「取り組んでいない」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」の回答が多かった。

○ 経年比較

- ・ 2009 年度、2014 年度アンケートとの比較⇒「いつも取り組んでいる」という回答は、「イ カーシェアリング（車の共同利用）やレンタサイクルを利用している」、「ウ 自動車の購入、買い替えの際に、低燃費車やハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車など環境配慮型の車種を選択している」とともに減少傾向にあった。

(4) ごみの減量・リサイクル

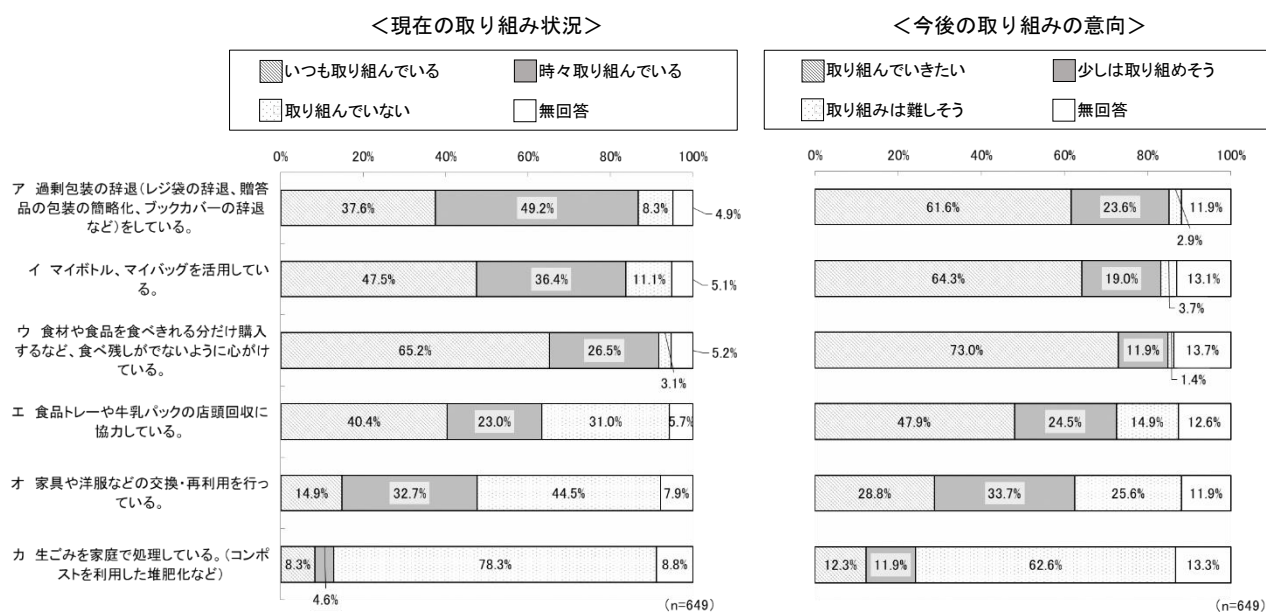


図 II-7 ごみの減量・リサイクル

- ・ 「いつも取り組んでいる」という回答が多かったのは、「ウ 食材や食品を食べきれ的分だけ購入するなど、食べ残しがでないように心がけている」、「イ マイボトル、マイバッグを活用している」の順であった。

ア 過剰包装の辞退（レジ袋の辞退、贈答品の包装の簡略化、ブックカバーの辞退など）をしている

- ・ 年代別⇒30 代の「時々取り組んでいる」、70 代の「いつも取り組んでいる」、80 代以上の「取り組んでいない」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒無職の「取り組んでいない」の回答が多かった。

イ マイボトル、マイバッグを活用している

- ・ 年代別⇒20 代の「取り組んでいない」、40 代の「時々取り組んでいる」、70 代の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「時々取り組んでいる」、家事専門の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

ウ 食材や食品を食べきれぬ分だけ購入するなど、食べ残しがでないように心がけている

- ・ 年代別⇒10 代の「取り組んでいない」、40 代の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。

エ 食品トレーや牛乳パックの店頭回収に協力している

- ・ 年代別⇒20～30 代の「取り組んでいない」、50 代、70 代の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」の回答が多かった。

オ 家具や洋服などの交換・再利用を行っている

- ・ 年代別⇒40 代の「時々取り組んでいる」、50 代の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒無職の「取り組んでいない」の回答が多かった。

カ 生ごみを家庭で処理している。（コンポストを利用した堆肥化など）

- ・ 年代別⇒30 代の「いつも取り組んでいる」、70 代の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

○ 経年比較

- ・ 2009 年度、2014 年度アンケートとの比較⇒「いつも取り組んでいる」という回答は、「カ 生ごみを家庭で処理している（コンポストを利用した堆肥化など）」を除き、いずれも減少傾向にあった。
- ・ 環境省が全国を対象に行っている「環境にやさしいライフスタイル実態調査」でも、「A 日常生活においてできるだけごみを出さないようにする」、「B 不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユースにまわす物・サービスを購入するときは環境への影響を考えてから選択する」という質問において、「すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う」という回答は減少傾向にあった。

(5) 自然環境・生物多様性への配慮

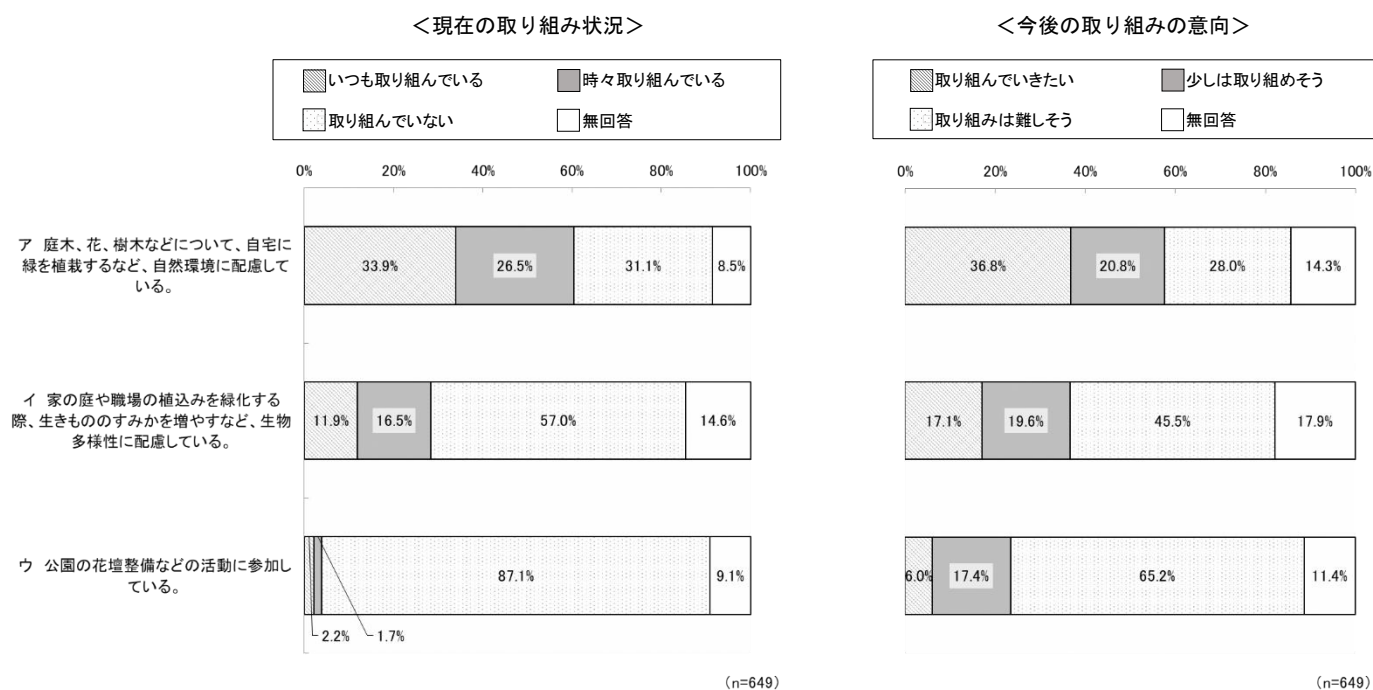


図 II-8 自然環境・生物多様性への配慮

- ・ 「いつも取り組んでいる」という回答が最も多かったのは、「ア 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している」であった。

ア 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している

- ・ 市内の居住年数別⇒2年未満、2～4年、5～9年の「取り組んでいない」、30年以上の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 世帯構成別⇒夫婦のみの「いつも取り組んでいる」、ひとり暮らしの「取り組んでいない」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒戸建（持家）の「いつも取り組んでいる」、集合住宅（賃貸）、集合住宅（持家）の「取り組んでいない」の回答が多かった。

イ 家の庭や職場の植込みを緑化する際、生きもののすみかを増やすなど、生物多様性に配慮している

- ・ 市内の居住年数別⇒2年未満、2～4年、5～9年の「取り組んでいない」、30年以上の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 世帯構成別⇒夫婦のみの「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒戸建（持家）の「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」の回答が多かった。

ウ 公園の花壇整備などの活動に参加している

- ・ 年代別⇒30～40代の「取り組んでいない」、60代の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」の回答が多かった。

○ 経年比較

- ・ 2009年度、2014年度アンケートとの比較⇒「ア 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している」について、「いつも取り組んでいる」という回答は、2014年度に大幅に増加し、2019年度にやや減少していた。

(6) 水環境への配慮

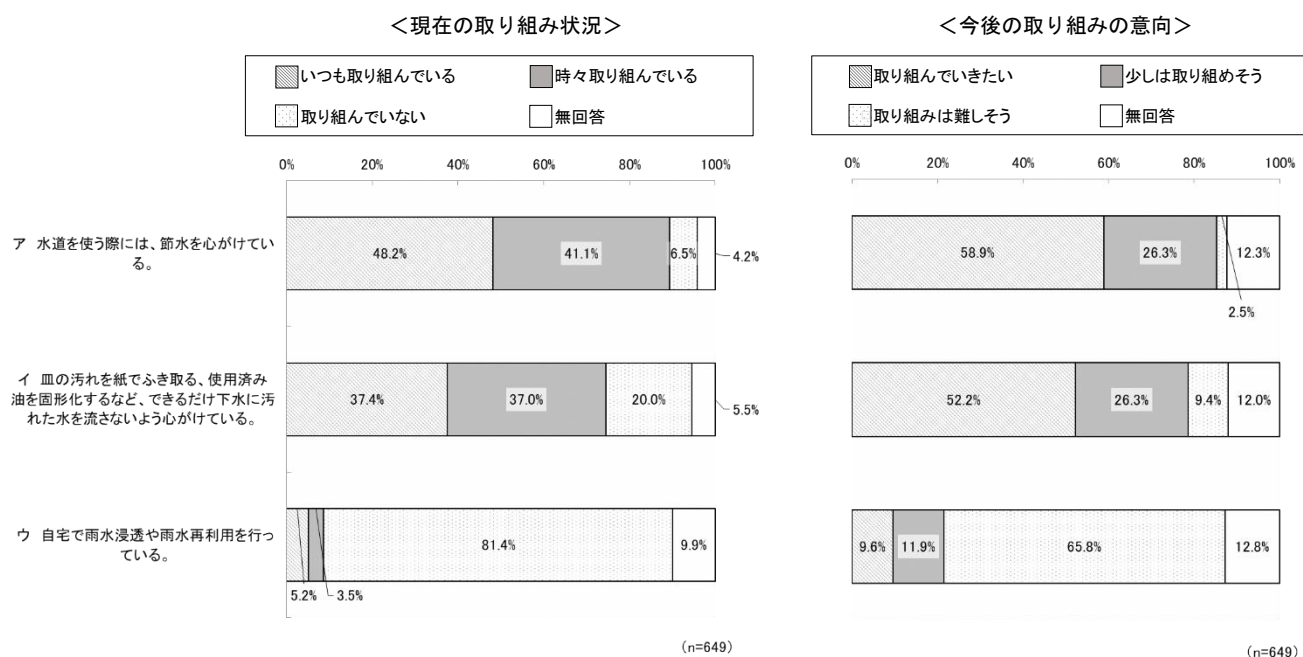


図 II-9 水環境への配慮

- ・ 「いつも取り組んでいる」という回答が最も多かったのは、「ア 水道を使う際には、節水を心がけている」であった。

ア 水道を使う際には、節水を心がけている

- ・ 年代別⇒80 代以上の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒無職の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

イ 皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている

- ・ 年代別⇒10～20 代の「取り組んでいない」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」、家事専門の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。

ウ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている

- ・ 市内の居住年数別⇒2 年未満、2～4 年、5～9 年の「取り組んでいない」、30 年以上の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 世帯構成別⇒夫婦のみの「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒戸建（持家）の「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」、集合住宅（賃貸）の「取り組んでいない」の回答が多かった。

○ 経年比較

- ・ 2009 年度、2014 年度アンケートとの比較⇒「ウ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている」について、「いつも取り組んでいる」という回答は、2014 年度に大幅に増加し、2019 年度に減少していた。

(7) 環境学習

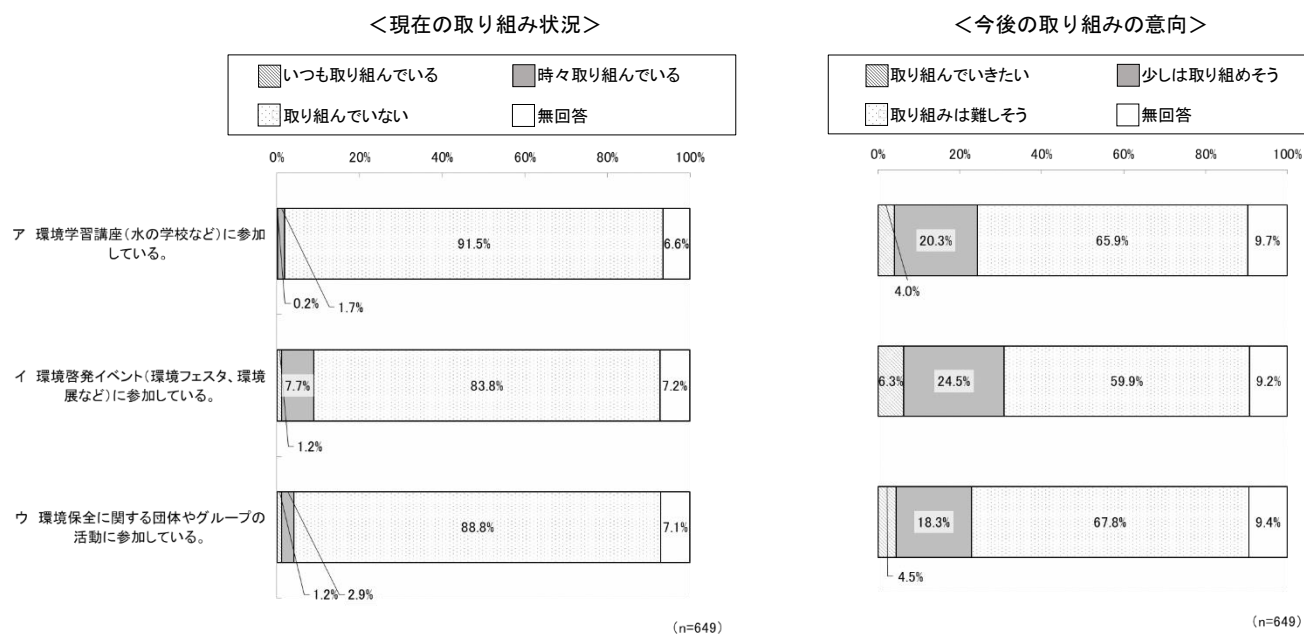


図 II-10 環境学習

- ・ 「いつも取り組んでいる」という回答は、いずれも2%にも満たなかった。
- ・ 今後の取り組みの意向については、いずれも、「いつも取り組んでいる」より「取り組んでいきたい」の方が増加していたが、「取り組みは難しそう」という回答が59.9%以上を占めていた。

ア 環境学習講座（水の学校など）に参加している

- ・ 年代別⇒30～40 代の「取り組んでいない」、60 代の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」、家事専門の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。

イ 環境啓発イベント（環境フェスタ、環境展など）に参加している

- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」、家事専門の「時々取り組んでいる」の回答が多かった。

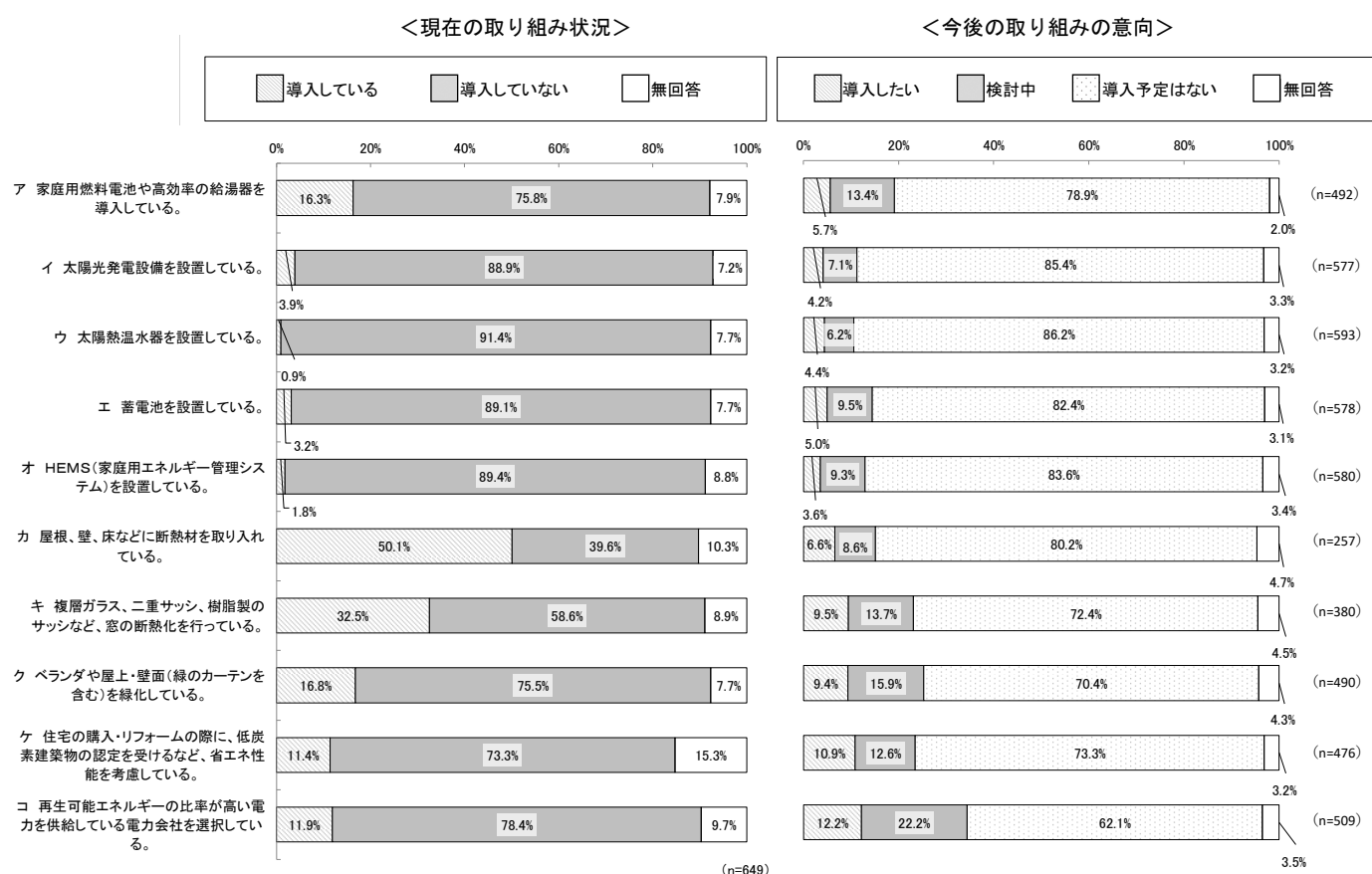
ウ 環境保全に関する団体やグループの活動に参加している

- ・ 年代別⇒30～40 代の「取り組んでいない」、70 代の「いつも取り組んでいる」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒会社員・公務員・団体職員の「取り組んでいない」の回答が多かった。

○ 経年比較

- ・ 2009 年度、2014 年度アンケートとの比較⇒「ウ 環境保全に関する団体やグループの活動に参加している」について、「いつも取り組んでいる」という回答は、2014 年度に大幅に増加し、2019 年度に大幅に減少していた。
- ・ 環境省が全国を対象に行っている「環境にやさしいライフスタイル実態調査」でも、「A 地域における環境保全のための取組に参加する（緑化、美化、自然保護、リサイクル、省エネ、地域の計画策定等）」という質問において、「すでに行っており、今後も引き続き行いたいと思う」という回答は 2014 年度にいったんやや増加しているものの、2016 年度には 2009 年度と同程度の割合に戻っていた。

(8) 住宅における省エネ・創エネ



注) ＜今後の取り組みの意向＞は、＜現在の取り組み状況＞で「導入していない」と回答した方のみが回答している。

図 II-11 住宅における省エネ・創エネ

- ・ 「導入している」という回答が多かったのは、「カ 屋根、壁、床などに断熱材を取り入れている」、「キ 複層ガラス、二重サッシ、樹脂製のサッシなど、窓の断熱化を行っている」の順であった。
- ・ 今後の取り組みの意向については、現在の取り組み状況で「導入していない」と回答した方のみが回答しており、多くの項目では「導入予定はない」が70%以上を占めているが、「コ 再生可能エネルギーの比率が高い電力を供給している電力会社を選択している」は、「導入したい」、「検討中」を合わせて24.4%を占めていた。

ア 家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入している

- ・ 市内の居住年数別⇒2年未満、2～4年の「導入していない」の回答が多かった。
- ・ 世帯構成別⇒ひとり暮らしの「導入していない」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒戸建(持家)の「導入している」、集合住宅(賃貸)の「導入していない」の回答が多かった。

イ 太陽光発電設備を設置している

- ・ 住まいの形態別⇒戸建(持家)の「導入している」の回答が多かった。

ウ 太陽熱温水器を設置している

- ・ 住まいの形態別⇒戸建(持家)の「導入している」の回答が多かった。

エ 蓄電池を設置している

- ・ 市内の居住年数別⇒2～4年の「導入していない」、5～9年の「導入している」の回答が多かった。

オ HEMS（家庭用エネルギー管理システム）を設置している

- ・ 市内の居住年数別⇒2年未満の「導入している」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒戸建（持家）の「導入している」の回答が多かった。

カ 屋根、壁、床などに断熱材を取り入れている

- ・ 市内の居住年数別⇒2年未満、2～4年の「導入していない」、20～29年の「導入している」の回答が多かった。
- ・ 世帯構成別⇒二世帯同居（親と子）の「導入している」、ひとり暮らしの「導入していない」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒戸建（持家）の「導入している」、集合住宅（賃貸）の「導入していない」の回答が多かった。

キ 複層ガラス、二重サッシ、樹脂製のサッシなど、窓の断熱化を行っている

- ・ 世帯構成別⇒二世帯同居（親と子）の「導入している」、ひとり暮らしの「導入していない」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒戸建（持家）、集合住宅（持家）の「導入している」、集合住宅（賃貸）の「導入していない」の回答が多かった。

ク ベランダや屋上・壁面（緑のカーテンを含む）を緑化している

- ・ 市内の居住年数別⇒20～29年の「導入している」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒集合住宅（持家）の「導入している」の回答が多かった。

ケ 住宅の購入・リフォームの際に、低炭素建築物の認定を受けるなど、省エネ性能を考慮している

- ・ 市内の居住年数別⇒2年未満の「導入している」、10～19年の「導入していない」の回答が多かった。
- ・ 世帯構成別⇒二世帯同居（親と子）の「導入している」の回答が多かった。
- ・ 住まいの形態別⇒集合住宅（賃貸）の「導入していない」、集合住宅（持家）の「導入している」の回答が多かった。

コ 再生可能エネルギーの比率が高い電力を供給している電力会社を選択している

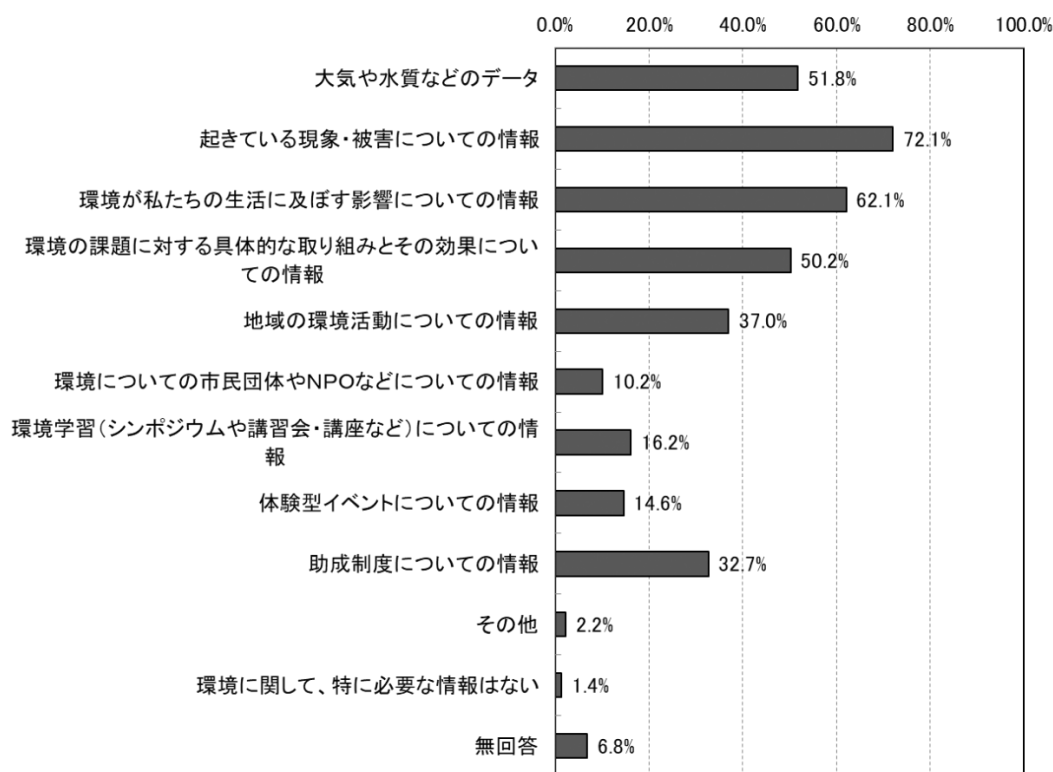
- ・ 市内の居住年数別、世帯構成別、住まいの形態別に見ても、回答に大きな違いはなかった。

○ 経年比較

- ・ 2009年度、2014年度アンケートとの比較⇒「いつも取り組んでいる」という回答は、「ア 家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入している」、「イ 太陽光発電設備を設置している」、「ウ 太陽熱温水器を設置している」が2014年度に大幅に増加し、2019年度にやや減少していた。また、「ク ベランダや屋上・壁面（緑のカーテンを含む）を緑化している」は減少傾向にあった。さらに、「ケ 住宅の購入・リフォームの際に、低炭素建築物の認定を受けるなど、省エネ性能を考慮している。」は、2014年度に大幅に増加し、2019年度に大幅に減少していた。

6 環境への取り組みを進めるために必要な情報について

問 5 環境への取り組みを進めるために必要な情報について伺います。あなたは環境に関するどのような情報を得たいと思いますか。あてはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。



(n=649)

図 II-12 環境への取り組みを進めるために必要な情報

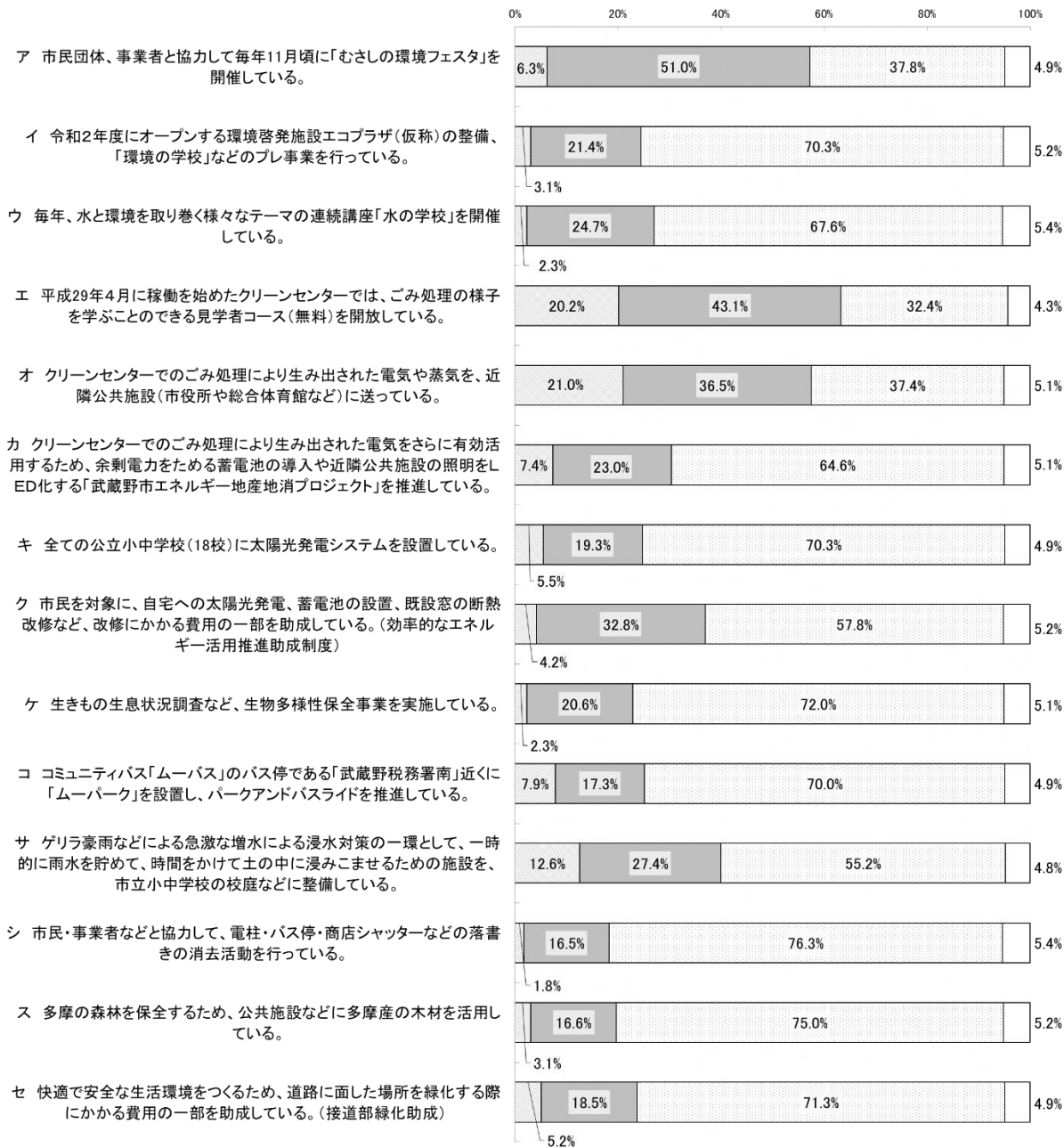
- 環境への取り組みを進めるために必要な情報の回答が多かったのは、「起きている現象・被害についての情報」、「環境が私たちの生活に及ぼす影響についての情報」、「大気や水質などのデータ」の順であった。
- 年代別⇒下記の回答が多かった。
 - 30代：「環境が私たちの生活に及ぼす影響についての情報」、「体験型イベントについての情報」
 - 40代：「環境の課題に対する具体的な取り組みとその効果についての情報」、「体験型イベントについての情報」
 - 50代：「大気や水質などのデータ」、「助成制度についての情報」の回答が多かった。
- 職業別⇒下記の回答が多かった。
 - 会社・団体役員：「起きている現象・被害についての情報」
 - 会社員・公務員・団体職員：「環境の課題に対する具体的な取り組みとその効果についての情報」、「助成制度についての情報」
 - 自由業：「環境に関して、特に必要な情報はない」
 - 学生：「体験型イベントについての情報」

7 武蔵野市の環境への取り組みについて

問 6 武蔵野市が行っている環境に関する取り組みについて、以下のものをご存知ですか。各取り組みについて、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○を付けてください。

☐ 内容まで知っている
☐ 聞いたことはある

☐ 全く知らない
☐ 無回答



(n=649)

図 II-13 武蔵野市の環境への取り組み

- ・ 武蔵野市が行っている環境に関する取り組みについて、「内容まで知っている」、「聞いたことはある」を合わせて回答が多かったのは、「エ 平成 29 年 4 月に稼働を始めたクリーンセンターでは、ごみ処理の様子を学ぶことのできる見学者コース（無料）を開放している」、「オ クリーンセンターでのごみ処理により生み出された電気や蒸気を、近隣公共施設（市役所や総合体育館など）に送っている」、「ア 市民団体、事業者と協力して毎年 11 月頃に「むさしの環境フェスタ」を開催している」の順であった。

8 武蔵野市の環境政策への要望について

問 7 市への環境施策への要望について伺います。あなたが環境に対する取り組みを積極的に進めるために、市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。あてはまるものを 3 つまで選び、番号に○を付けてください。

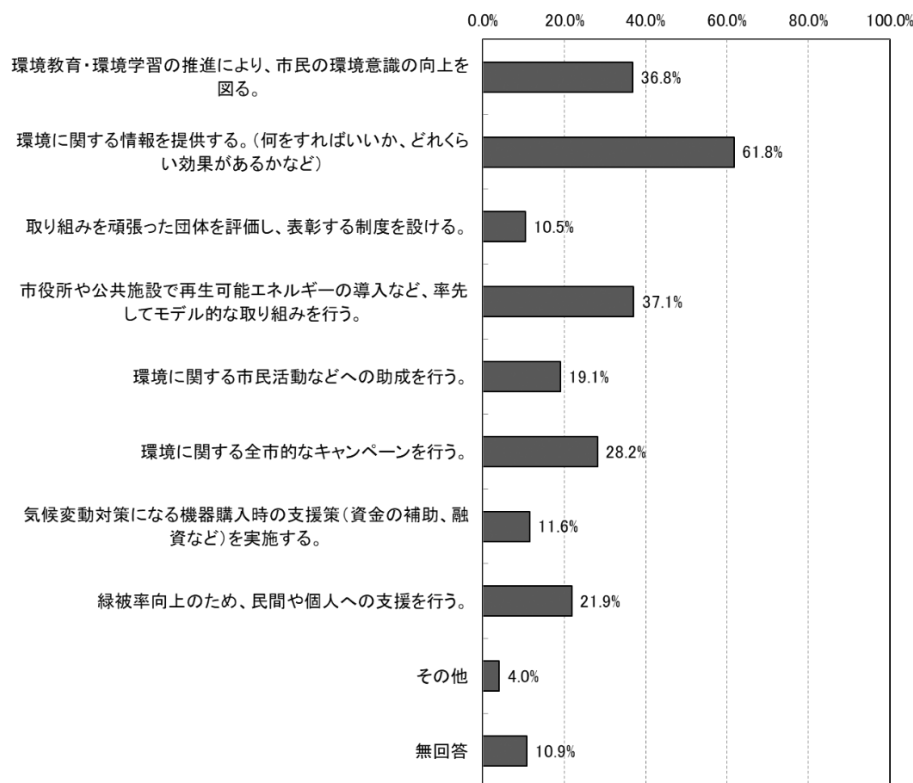


図 II-14 武蔵野市の環境政策への要望

- ・ 武蔵野市の環境政策への要望が多かったのは、「環境に関する情報を提供する（何をすればいいか、どれくらい効果があるかなど）」、「市役所や公共施設で再生可能エネルギーの導入など、率先してモデル的な取り組みを行う」、「環境教育・環境学習の推進により、市民の環境意識の向上を図る」の順であった。

- ・ 「気候変動対策になる機器購入時の支援策（資金の補助、融資など）を実施する」という選択肢の具体的な機器の名称については、「太陽光発電設備」と「蓄電池」の回答が多かった。

表 II-2 支援策が必要な機器

機器の名称	回答数
太陽光発電設備	8 件
蓄電池	7 件
電気自動車	1 件
電動バイク	1 件
コジェネレーションシステム	1 件
ガス湯沸かし器	1 件
コンポスト	1 件

- ・ 年代別⇒下記の回答が多かった。
40 代：「市役所や公共施設で再生可能エネルギーの導入など、率先してモデル的な取り組みを行う」の回答が多かった。
- ・ 職業別⇒下記の回答が多かった。
会社・団体役員：「環境教育・環境学習の推進により、市民の環境意識の向上を図る」
会社員・公務員・団体職員：「市役所や公共施設で再生可能エネルギーの導入など、率先してモデル的な取り組みを行う」、「気候変動対策になる機器購入時の支援策（資金の補助、融資など）を実施する」

9 回答者の属性別の特徴

(1) 年代別

○ 10～20 代

- ・ 環境の課題⇒「身のまわりの動植物の減少（生物多様性の保全など）」、「悪臭」などに関心がある人が多い。
- ・ SDGs の認知度⇒知らない人が多い。
- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組まない人が多い。
 - ・ 日々の電気、ガス、水道の使用量を把握し、必要に応じて見直すための記録をとっている
 - ・ 旬の食材や地場の食材などを選んで購入している（地産地消）
 - ・ マイボトル、マイバッグを活用している
 - ・ 皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている など

○ 30～50 代

- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組まない人が多い。
 - ・ 電球が切れた時は、省エネ効果の高いLEDランプ、電球型蛍光灯に交換している
 - ・ 家電製品購入時は、省エネ性能を重視している
 - ・ 公園の花壇整備などの活動に参加している
 - ・ 環境学習講座（水の学校など）に参加している
 - ・ 環境保全に関する団体やグループの活動に参加している など
- ・ 環境への取り組みを進めるために必要な情報⇒「体験型イベントについての情報」、「助成制度についての情報」などを必要としている人が多い。
- ・ 武蔵野市の環境政策への要望⇒「市役所や公共施設で再生可能エネルギーの導入など、率先してモデル的な取り組みを行う」などを要望している人が多い。

○ 60～70 代

- ・ 環境の課題⇒「地球温暖化（ヒートアイランド含む）」、「海洋プラスチック」などに関心がある人が多い。
- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組む人が多い。
 - ・ 日々の電気、ガス、水道の使用量を把握し、必要に応じて見直すための記録をとっている
 - ・ マイボトル、マイバッグを活用している
 - ・ 食品トレーや牛乳パックの店頭回収に協力している
 - ・ 環境学習講座（水の学校など）に参加している
 - ・ 環境保全に関する団体やグループの活動に参加している など

○ 80 代以上

- ・ 環境への取り組み⇒「水道を使う際には、節水を心がけている」などに取り組む人が多い。

(2) 職業別

○ 会社員・公務員・団体職員

- ・ 環境の課題⇒「ごみの減量・リサイクル」、「まちの美観など、都市の景観の保全（緑化など）」、「悪臭」などに関心がある人が多い。
- ・ SDGs の認知度⇒内容まで知っている人が多い。
- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組まない人が多い。
 - ・ 夏季は自宅や職場などで打ち水を行っている
 - ・ 電球が切れた時は、省エネ効果の高いLEDランプ、電球型蛍光灯に交換している
 - ・ 家電製品購入時は、省エネ性能を重視している
 - ・ 旬の食材や地場の食材などを選んで購入している(地産地消)
 - ・ 環境に配慮した生活用品であることを示すエコマークや、適切な森林管理に基づく紙製品、家具などであることを示すFSC認証マークなどがついた製品を選んで購入している
 - ・ 自動車の購入、買い替えの際に、低燃費車やハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車など環境配慮型の車種を選択している
 - ・ 食品トレーや牛乳パックの店頭回収に協力している
 - ・ 公園の花壇整備などの活動に参加している
 - ・ 皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている
 - ・ 環境学習講座（水の学校など）に参加している
 - ・ 環境啓発イベント（環境フェスタ、環境展など）に参加している
 - ・ 環境保全に関する団体やグループの活動に参加している など
- ・ 一方、「カーシェアリング（車の共同利用）やレンタサイクルを利用している」などに取り組む人が多い。
- ・ 環境への取り組みを進めるために必要な情報⇒「環境の課題に対する具体的な取り組みとその効果についての情報」、「助成制度についての情報」などを必要としている人が多い。
- ・ 武蔵野市の環境政策への要望⇒「市役所や公共施設で再生可能エネルギーの導入など、率先してモデル的な取り組みを行う」、「気候変動対策になる機器購入時の支援策（資金の補助、融資など）を実施する」などを要望している人が多い。

○ 学生

- ・ 環境の課題⇒「大気汚染（光化学スモッグ・PM2.5 など）」、「悪臭」などに関心がある人が多い。
- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組まない人が多い。
 - ・ 冷房効果を高めるように心がけている
 - ・ 日々の電気、ガス、水道の使用量を把握し、必要に応じて見直すための記録をとっている
 - ・ 家電製品購入時は、省エネ性能を重視している
 - ・ 旬の食材や地場の食材などを選んで購入している（地産地消）
 - ・ 環境に配慮した生活用品であることを示すエコマークや、適切な森林管理に基づく紙製品、家具などであることを示すF S C認証マークなどがついた製品を選んで購入している
 - ・ 皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている など。
- ・ 一方、「家具や洋服などの交換・再利用を行っている」などに取り組む人が多い。
- ・ 環境への取り組みを進めるために必要な情報⇒「体験型イベントについての情報」などを必要としている人が多い。

○ 家事専業

- ・ 環境の課題⇒「水質汚濁・土壌汚染」、「放射線」などに関心がある人が多い。
- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組む人が多い。
 - ・ 冷房効果を高めるように心がけている
 - ・ 夏季は自宅や職場などで打ち水を行っている
 - ・ 電球が切れた時は、省エネ効果の高いLEDランプ、電球型蛍光灯に交換している
 - ・ 家電製品購入時は、省エネ性能を重視している
 - ・ マイボトル、マイバッグを活用している
 - ・ 皿の汚れを紙でふき取る、使用済み油を固形化するなど、できるだけ下水に汚れた水を流さないよう心がけている など

(3) 市内の居住年数別

○ 10 年未満

- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組まない人が多い。
 - ・ 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している
 - ・ 家の庭や職場の植込みを緑化する際、生きもののすみかを増やすなど、生物多様性に配慮している
 - ・ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている
 - ・ 家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入している
 - ・ 屋根、壁、床などに断熱材を取り入れている など

○ 10～29 年未満

- ・ 環境への取り組み⇒「ベランダや屋上・壁面（緑のカーテンを含む）を緑化している」などに取り組まない人が多い。

○ 30 年以上

- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組む人が多い。
 - ・ 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している
 - ・ 家の庭や職場の植込みを緑化する際、生きもののすみかを増やすなど、生物多様性に配慮している
 - ・ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている など

(4) 世帯構成別

○ 二世帯同居（親と子）

- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組む人が多い。
 - ・ 屋根、壁、床などに断熱材を取り入れている
 - ・ 住宅の購入・リフォームの際に、低炭素建築物の認定を受けるなど、省エネ性能を考慮している など

○ 夫婦のみ

- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組む人が多い。
 - ・ 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している
 - ・ 家の庭や職場の植込みを緑化する際、生きもののすみかを増やすなど、生物多様性に配慮している
 - ・ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている など

○ ひとり暮らし

- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組まない人が多い。
 - ・ 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している
 - ・ 家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入している
 - ・ 屋根、壁、床などに断熱材を取り入れている など

(5) 住まいの形態別

○ 戸建（持家）

- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組む人が多い。
 - ・ 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している
 - ・ 家の庭や職場の植込みを緑化する際、生きもののすみかを増やすなど、生物多様性に配慮している
 - ・ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている
 - ・ 家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入している
 - ・ 太陽光発電設備を設置している」、「太陽熱温水器を設置している
 - ・ HEMS（家庭用エネルギー管理システム）を設置している
 - ・ 屋根、壁、床などに断熱材を取り入れている
 - ・ 複層ガラス、二重サッシ、樹脂製のサッシなど、窓の断熱化を行っている など

○ 集合住宅（賃貸）

- ・ 環境への取り組み⇒下記に取り組まない人が多い。
 - ・ 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している
 - ・ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている
 - ・ 家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入している
 - ・ 屋根、壁、床などに断熱材を取り入れている
 - ・ 複層ガラス、二重サッシ、樹脂製のサッシなど、窓の断熱化を行っている
 - ・ 住宅の購入・リフォームの際に、低炭素建築物の認定を受けるなど、省エネ性能を考慮している など

○ 集合住宅（持家）

- ・ 環境への取り組み⇒「庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している」などに取り組まない人が多い。
- ・ 一方、下記に取り組む人が多い。
 - ・ 複層ガラス、二重サッシ、樹脂製のサッシなど、窓の断熱化を行っている
 - ・ ベランダや屋上・壁面（緑のカーテンを含む）を緑化している
 - ・ 住宅の購入・リフォームの際に、低炭素建築物の認定を受けるなど、省エネ性能を考慮している など

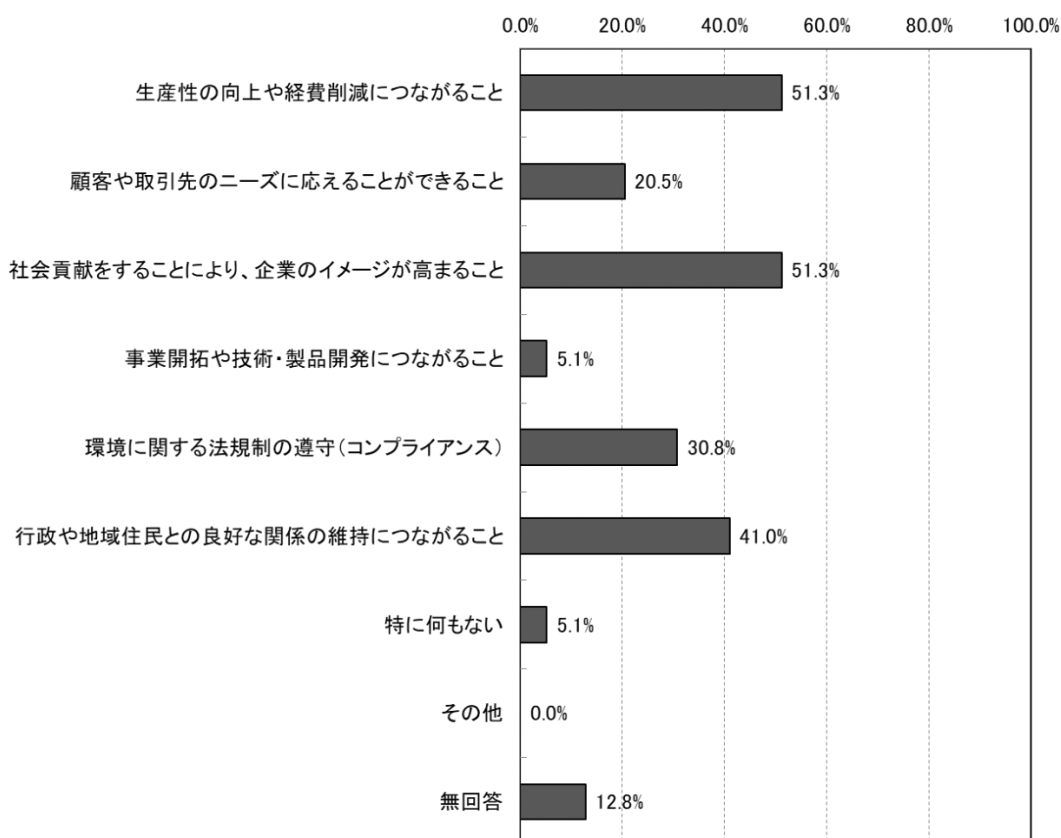
III 事業所調査結果

1 回答した事業所について

- ・ 主要業種⇒卸売・小売業、サービス業、医療・福祉業の順に多かった。
- ・ 従業員規模⇒10 人未満、10～29 人、300 人以上の順に多かった。
- ・ 事業所の形態⇒店舗（住居別）、事務所（住居別）、店舗（住居併用）の順に多かった。
- ・ 延床面積⇒49 m²未満、100～199 m²、50～99 m²の順に多かった。

2 事業活動における環境の位置づけについて

問1 環境への取り組みの実施による経営的なメリット（利点）として、何を期待しますか。特にあてはまるものを3つまで選んで番号に○を付けてください。



(n=39)

図 III-1 事業活動における環境の位置づけ

- ・ 事業活動における環境の位置づけの回答が多かったのは、「生産性の向上や経費削減につながる事」、「社会貢献をすることにより、企業のイメージが高まる事」、「行政や地域住民との良好な関係の維持につながる事」の順であった。

3 事業所での環境配慮行動について

問 2 貴事業所での環境配慮行動の取り組み状況についてお聞きます。以下の環境配慮行動について、各項目それぞれ1つ該当する番号に○を付けてください。

(1) 環境啓発や情報発信に関する取り組み

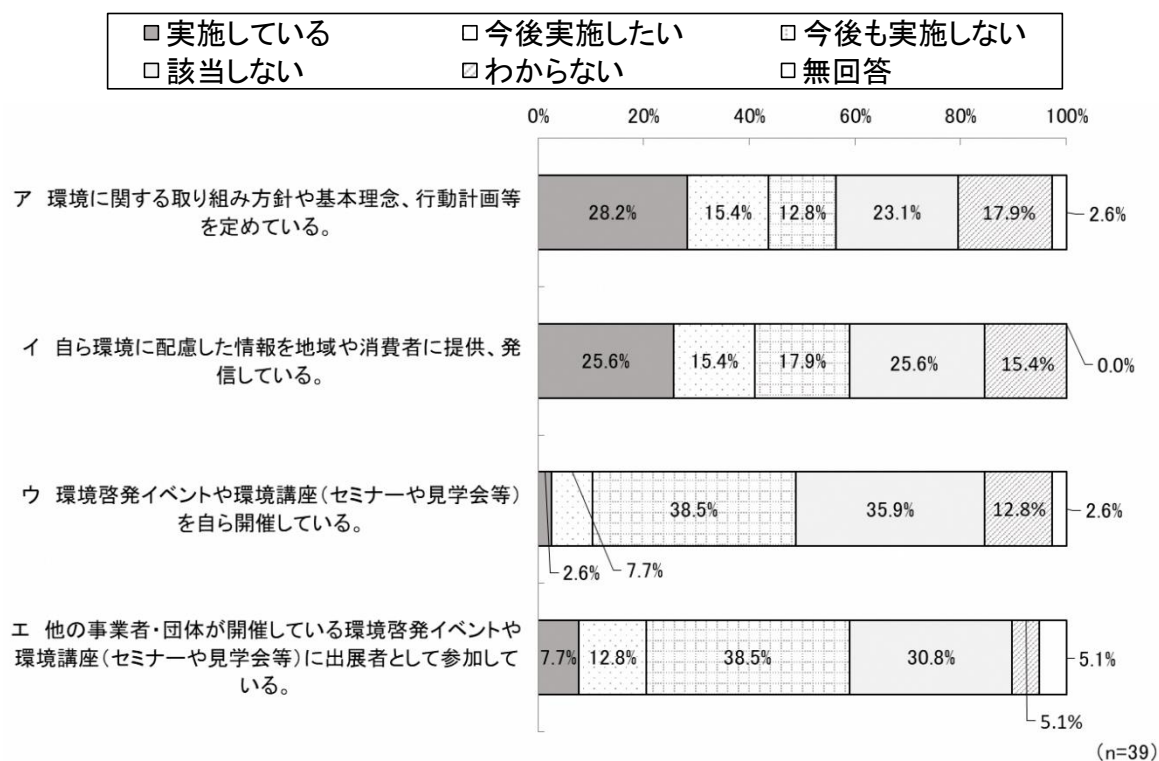


図 III-2 環境啓発や情報発信に関する取り組み

- 環境啓発や情報発信に関する取り組みで、「実施している」という回答が多かったのは、「ア 環境に関する取り組み方針や基本理念、行動計画等を定めている」、「イ 自ら環境に配慮した情報を地域や消費者に提供、発信している」の順であった。

(2) 低炭素社会の実現に向けた取り組み

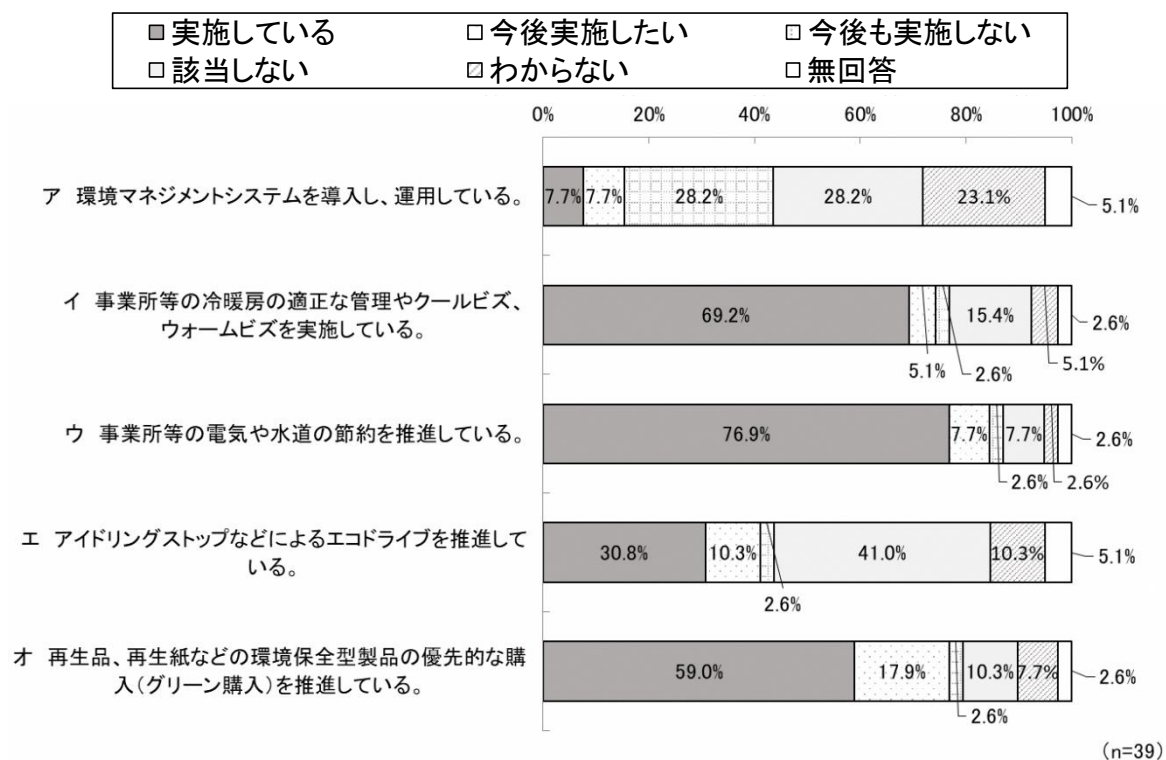


図 III-3 低炭素社会の実現に向けた取り組み

- 低炭素社会の実現に向けた取り組みで、「実施している」という回答が多かったのは、「ウ 事業所等の電気や水道の節約を推進している」、「イ 事業所等の冷暖房の適正な管理やクールビズ、ウォームビズを実施している」の順であった。

(3) ごみの発生抑制と資源の循環利用に関する取り組み

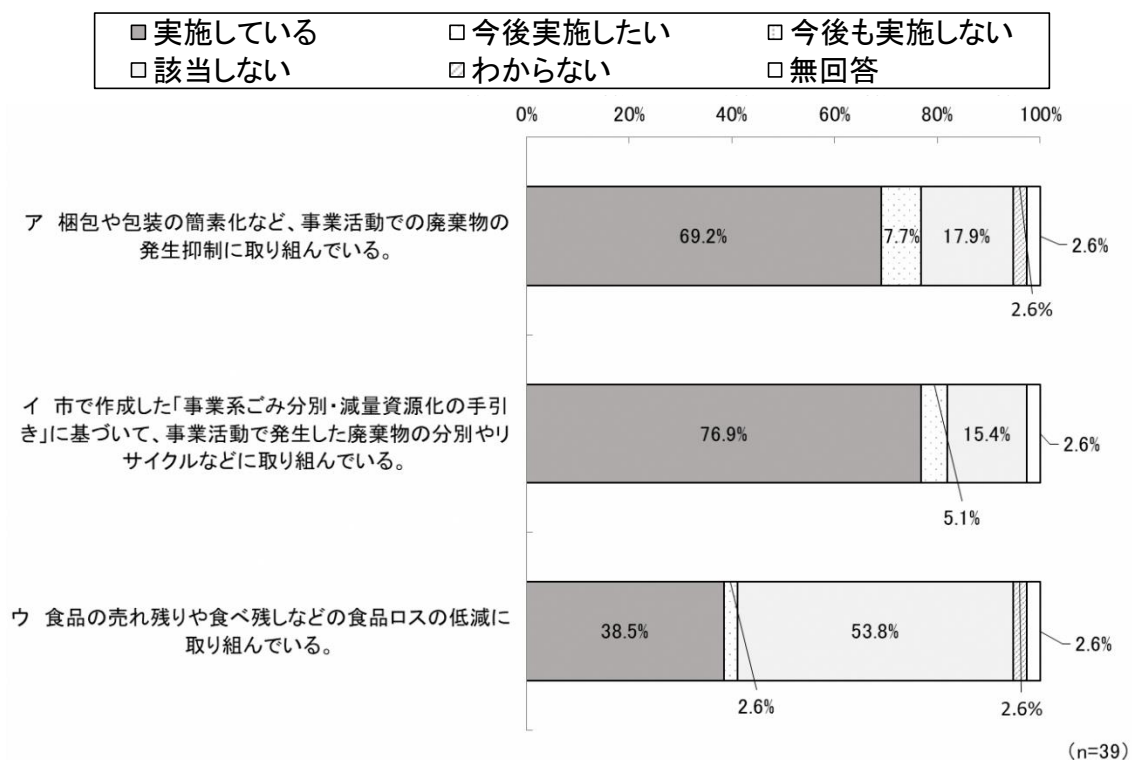


図 III-4 ごみの発生抑制と資源の循環利用に関する取り組み

- ごみの発生抑制と資源の循環利用に関する取り組みで、「実施している」という回答が最も多かったのは、「イ 市で作成した「事業系ごみ分別・減量資源化の手引き」に基づいて、事業活動で発生した廃棄物の分別やリサイクルなどに取り組んでいる」であった。

(4) 自然が感じられる環境の確保に関する取り組み

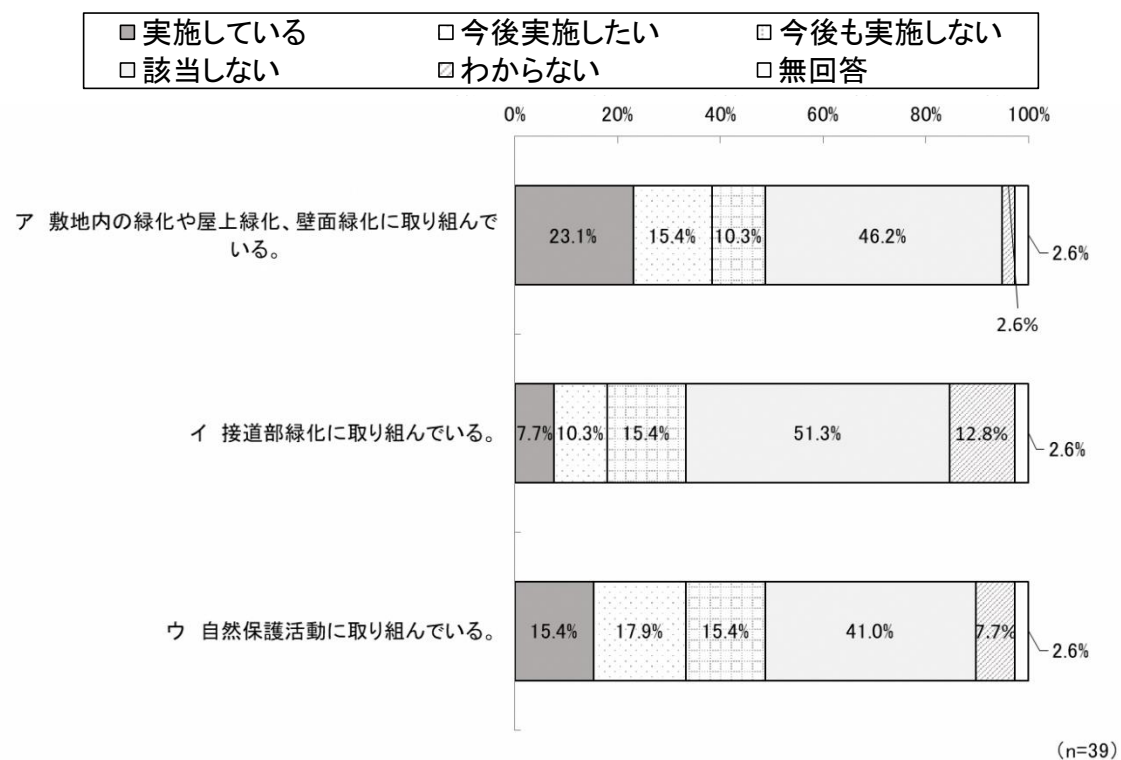


図 III-5 自然が感じられる環境の確保に関する取り組み

- ・ 自然が感じられる環境の確保に関する取り組みで、「実施している」という回答が最も多かったのは、「ア 敷地内の緑化や屋上緑化、壁面緑化に取り組んでいる」であった。

(5) 環境と共生したまちづくりに関する取り組み

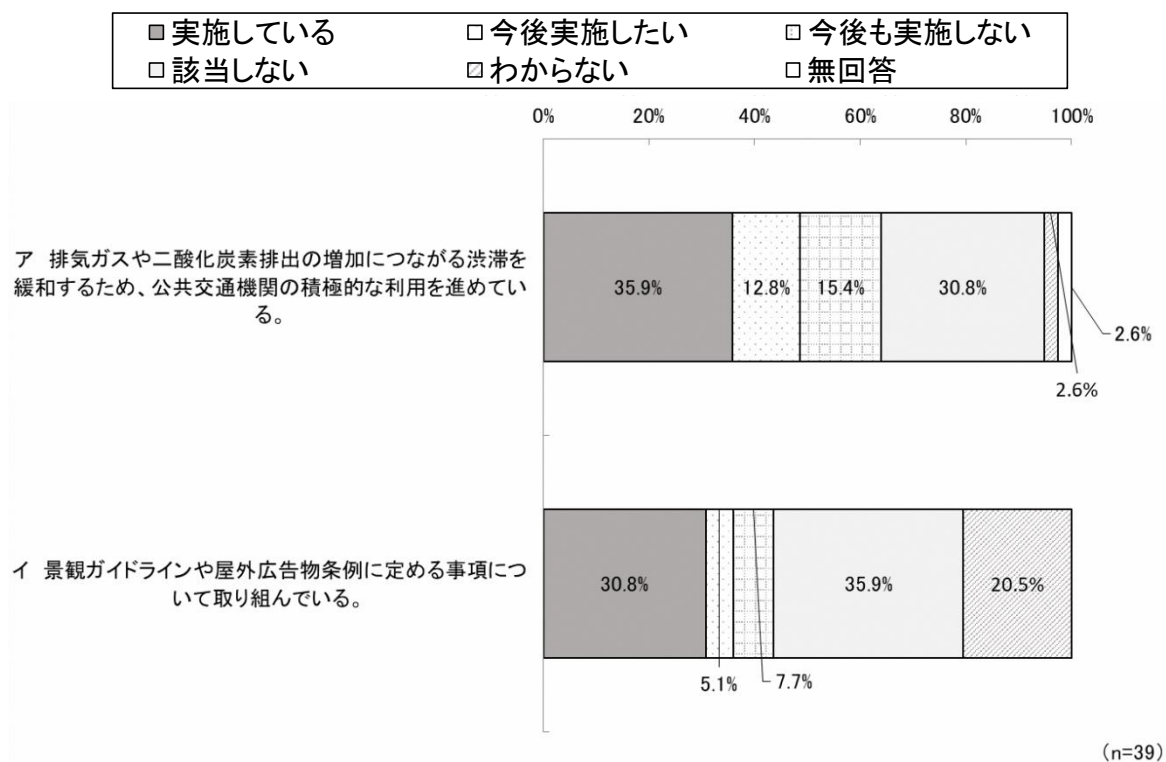


図 III-6 環境と共生したまちづくりに関する取り組み

- 環境と共生したまちづくりに関する取り組みで、「実施している」という回答は、「イ 景観ガイドラインや屋外広告物条例に定める事項について取り組んでいる」より「ア 排気ガスや二酸化炭素排出の増加につながる渋滞を緩和するため、公共交通機関の積極的な利用を進めている」の方が多かった。

(6) 公害対策と生活環境保全に関する取り組み

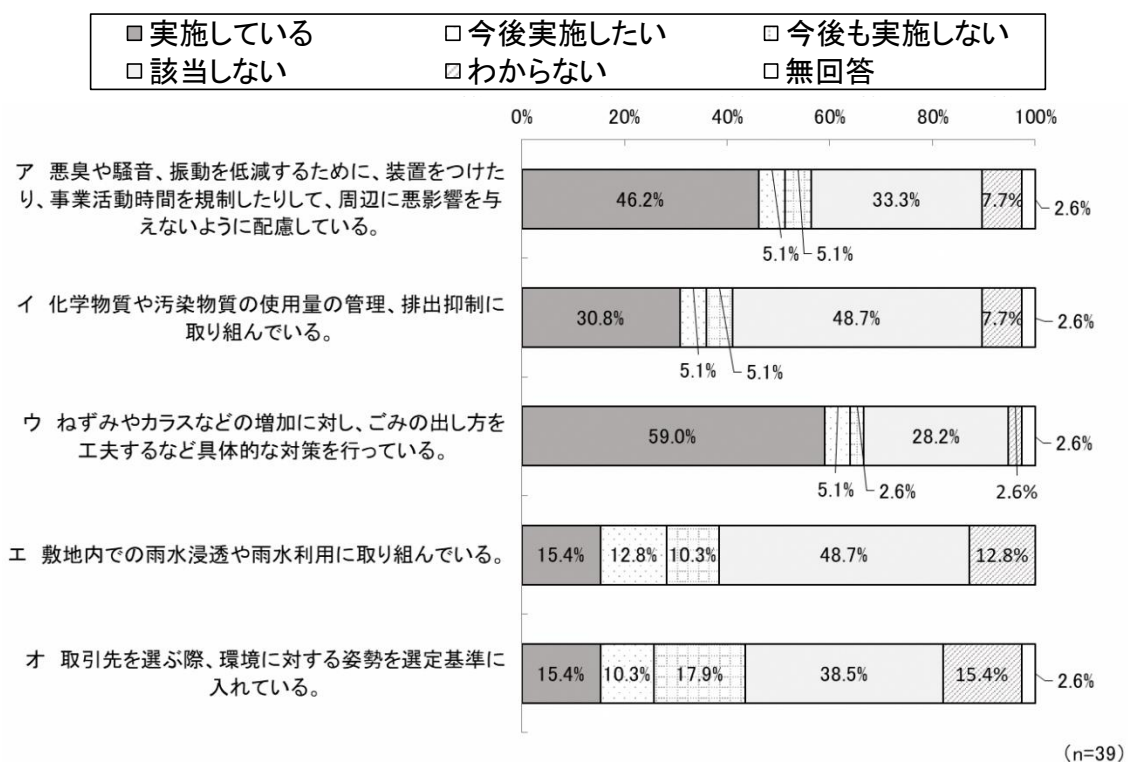
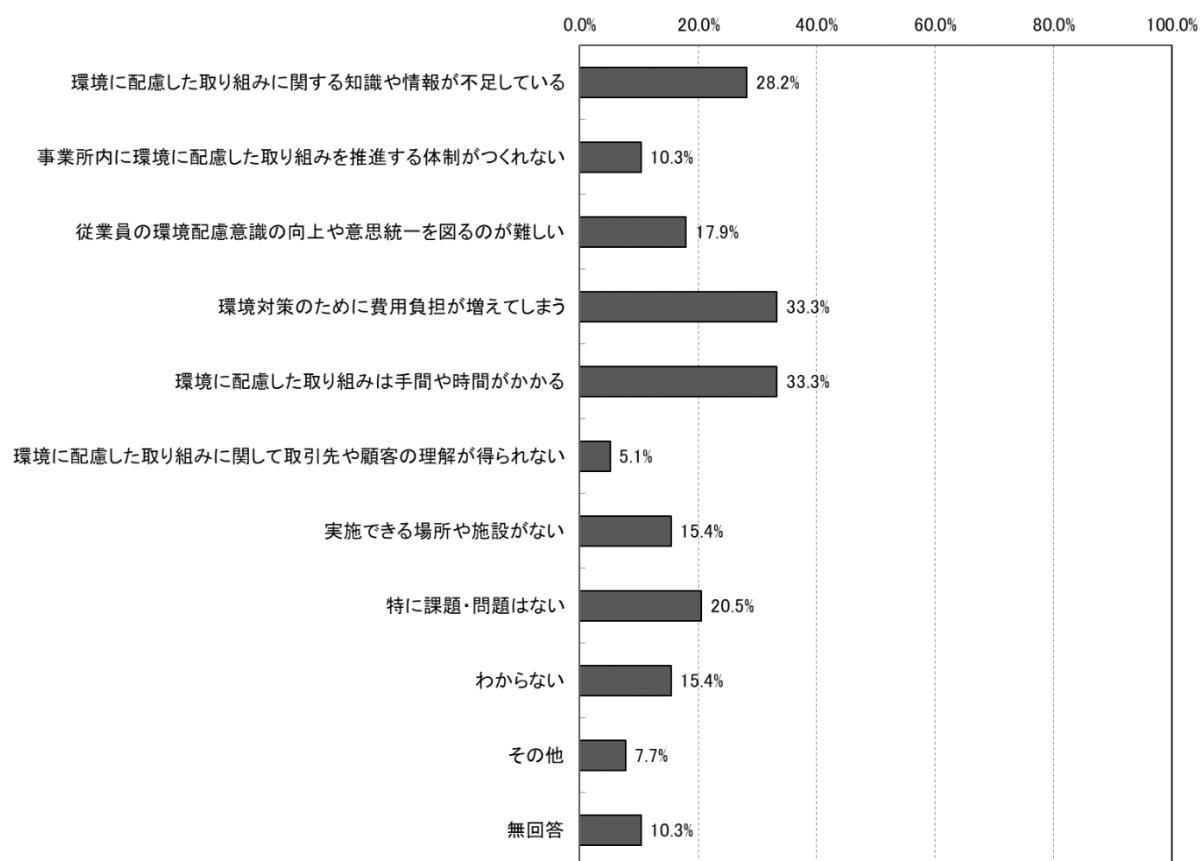


図 III-7 公害対策と生活環境保全に関する取り組み

- 公害対策と生活環境保全に関する取り組みで、「実施している」という回答が多かったのは、「ウ ねずみやカラスなどの増加に対し、ごみの出し方を工夫するなど具体的な対策を行っている」、「ア 悪臭や騒音、振動を低減するために、装置をつけたり、事業活動時間を規制したりして、周辺に悪影響を与えないように配慮している」の順であった。

4 環境配慮行動の取り組みを進めるうえでの課題・問題点について

問 4 貴事業所において環境に配慮した取り組みを実施する上での課題・問題点についてお聞きます。あてはまる項目すべての番号に○を付けてください。



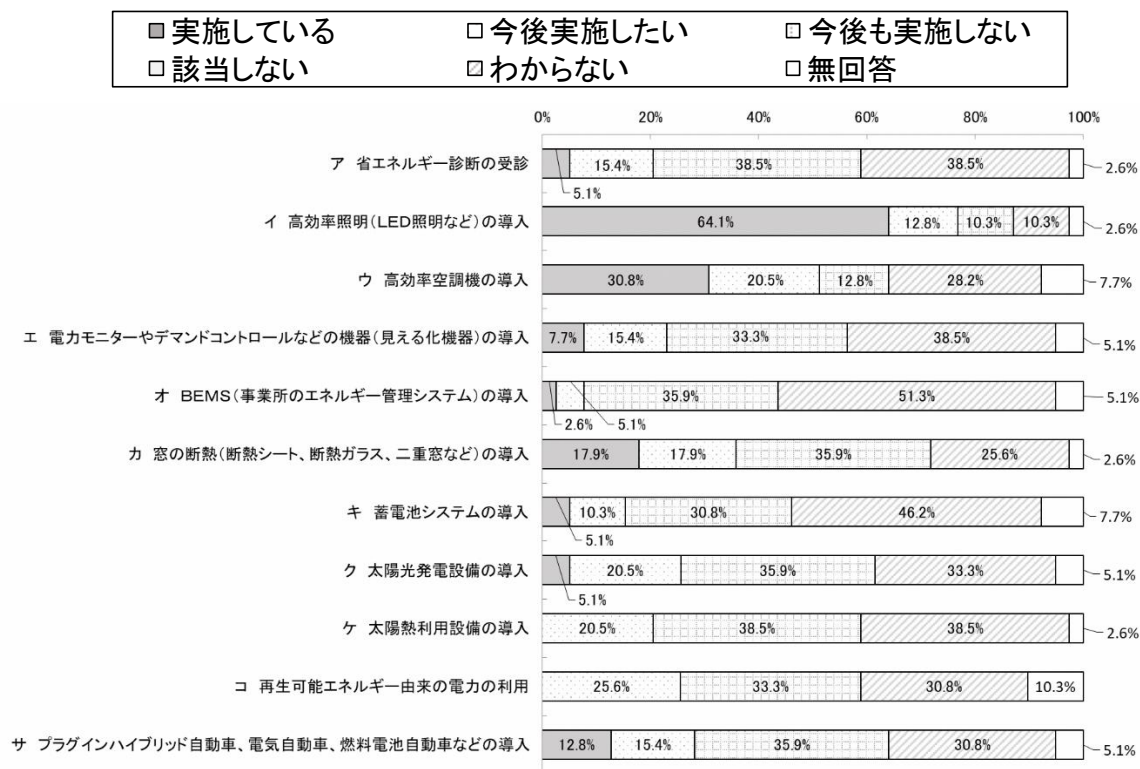
(n=39)

図 III-8 環境配慮行動の取り組みを進めるうえでの課題・問題点

- ・ 環境配慮行動の取り組みを進めるうえでの課題・問題点の回答が多かったのは、「環境対策のために費用負担が増えてしまう」、「環境に配慮した取り組みは手間や時間がかかる」、「環境に配慮した取り組みに関する知識や情報が不足している」の順であった。

5 省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入について

問5 貴事業所での省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入の状況についてお聞きます。
以下のア～シの各項目について、それぞれ1つ該当する番号に○を付けてください。



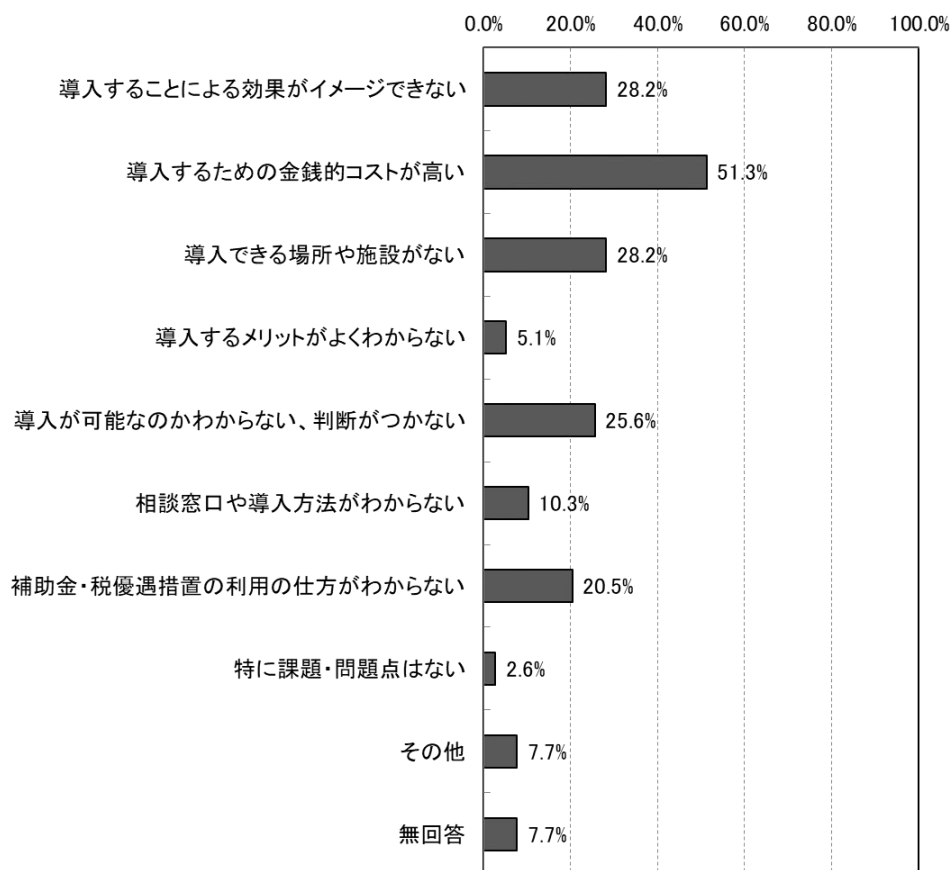
(n=39)

図 III-9 省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入

- 省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入について、「実施している」という回答が多かったのは、「イ 高効率照明(LED照明など)の導入」、「ウ 高効率空調機の導入」、「カ 窓の断熱(断熱シート、断熱ガラス、二重窓など)の導入」の順であった。

6 省エネ・再生可能エネルギーの設備導入するうえでの課題・問題点について

問 6 省エネ・再生可能エネルギーに関する設備を導入する上での課題・問題点についてお聞きします。特にあてはまるものを3つまで選んで番号に○を付けてください。



(n=39)

図 III-10 省エネ・再生可能エネルギーの設備導入するうえでの課題・問題点

- ・ 省エネ・再生可能エネルギーに関する設備を導入する上での課題・問題点の回答が多かったのは、「導入するための金銭的コストが高い」、「導入することによる効果がイメージできない」、「導入できる場所や施設がない」の順であった。

7 地域社会との連携について

問 7 事業所としての、地域の環境保全のための取り組みについてお聞きします。次の取り組みを実施していますか。または今後、実施する予定はありますか。ア～コの各項目についてそれぞれ1つ該当する番号に○を付けてください。

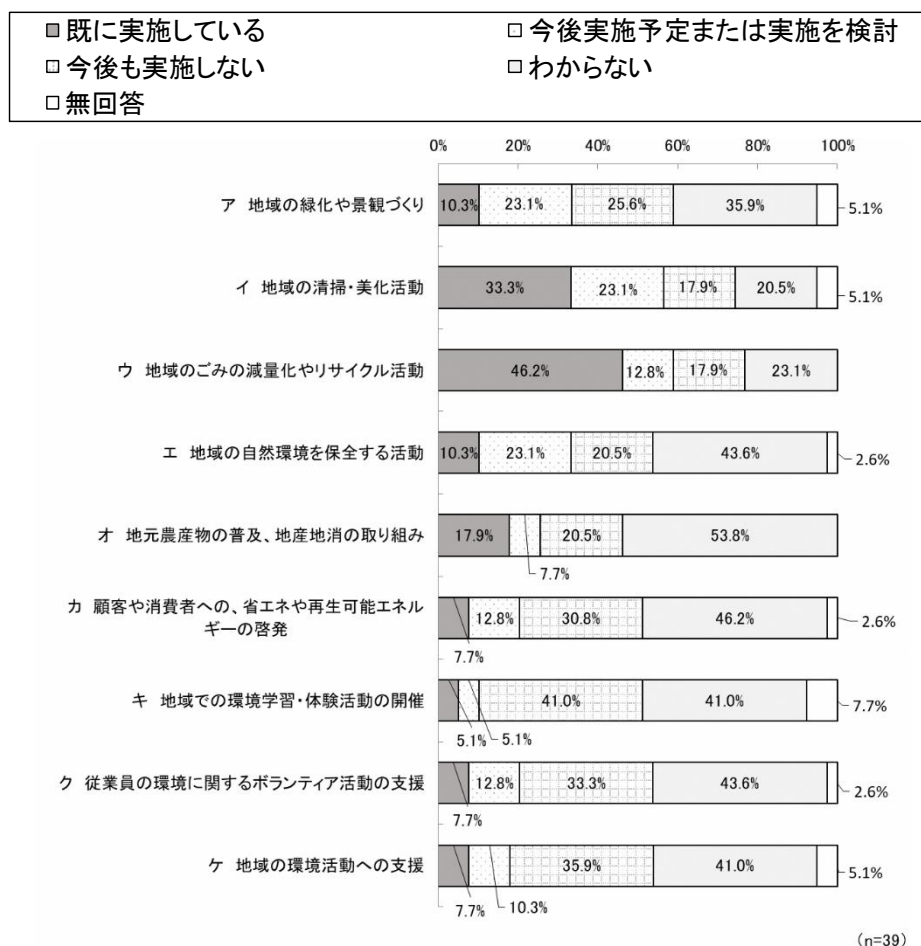


図 III-11 地域社会との連携

- ・ 地域社会との連携について、「既に実施している」という回答が多かったのは、「ウ 地域のごみの減量化やリサイクル活動」、「イ 地域の清掃・美化活動」、「オ 地元農産物の普及、地産地消の取り組み」の順であった。

問 8 問 7「1（既に実施している）」または「2（現在、実施していないが、今後実施予定または実施を検討）」と回答した事業所にお聞きます。地域での環境保全活動を進めるにあたり、連携している、またはこれから連携したい団体は、ありますか？あてはまる項目すべての番号に○を付けてください。

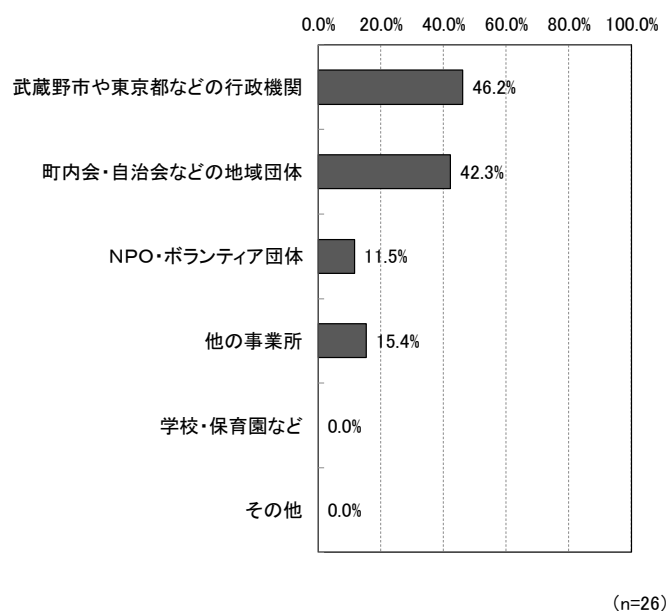
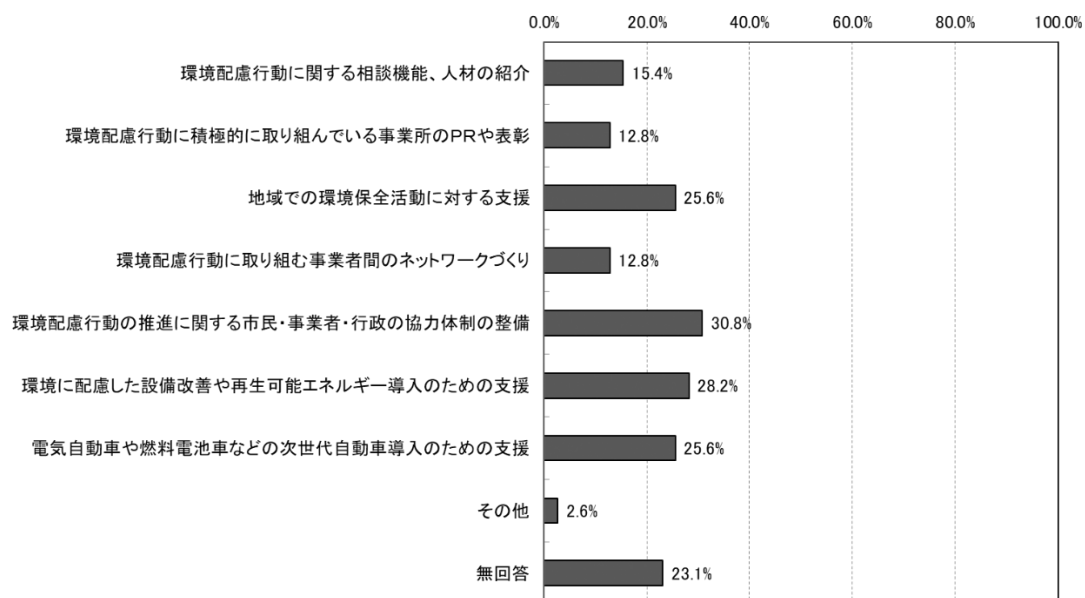


図 III-12 連携している、またはこれから連携したい団体

- ・ 連携している、またはこれから連携したい団体の回答が多かったのは、「武蔵野市や東京都などの行政機関」、「町内会・自治会などの地域団体」、の順であった。

8 武蔵野市の環境政策への要望について

問 9 事業所として、環境への取り組みを進めていくため、武蔵野市に対してどのような支援を期待しますか。特に期待するものを3つまで選んで番号に○を付けてください。



(n=39)

図 III-13 武蔵野市の環境政策への要望

- ・ 武蔵野市の環境政策への要望の回答が多かったのは、「環境配慮行動の推進に関する市民・事業者・行政の協力体制の整備」、「環境に配慮した設備改善や再生可能エネルギー導入のための支援」、「地域での環境保全活動に対する支援」、「電気自動車や燃料電池車などの次世代自動車導入のための支援」の順であった。